大正十二年一月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞
夕刊
十二月二十八日

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓
廣告料 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話(編輯局專用)③三二二五 (營業局專用)③三二〇〇
發行人 [illegible]
編輯人 [illegible]
印刷人 [illegible]

汪精衛の香港行は明年一月早々か
目下ハノイで旅券の準備

【上海廿七日發國通】香港よりの支那側情報によると、汪精衛は目下ハノイに在つて香港行きのため旅券準備をなしつゝあるが、なほ數日を要する見込みで、香港行きは正月になつてからではないかといはれてゐる

蔣介石極度に狼狽飜意を促す

【上海廿七日發國通】汪精衛出國前後の事情に就てはその後も引續き取沙汰されてゐるが、支那紙の報道によると、汪精衛の出國は一、二ヶ月前から周到に計畫されてゐたもので、汪夫人の陳璧君及び陳公博、曾仲鳴等は汪精衛の出國數日前汪精衛に先行して重慶を出發したと云はれる、蔣介石は汪精衛がハノイに着いて始めて出國の事實を知つたと云ふやうな有樣で非常に驚愕し、直ちに電報で歸國を勸める一方、目下佛印當局と鐵道問題に關して交渉中の外交部長王寵惠を通じてその飜意を促さしめたと云はれる

四手井侍從武官

【下關國通】中南支派遣部隊慰問のため畏きあたりより御差遣の四手井侍從武官は聖旨並に令旨の傳達を終へ、二ヶ月振りに廿七日朝基隆から門司入港の大和丸で歸還午前九時二十五分下關發東上した

花輪漢口總領事

【漢口廿七日發國通】花輪漢口總領事は現地狀況の報告ならびに重要事務打合せのため上海經由東京に赴くこととなり廿七日午前十時漢口發空路東上の途についた、東京滯在は十日間の筈

陸の荒鷲猛爆

【〇〇基地廿七日發國通】陸の荒鷲高橋、鹿田、井上、齋藤、根上の各部隊は廿六、七の兩日に亙り大擧增城北方を急襲、同方面にあつた敵一個旅に對し反復猛爆を加へ敵約二千五百、馬匹二百五十に潰滅的打擊を與へた、又その一部は廣東省の北省境南雄飛行場を襲ひこれを徹底的に破壞した

廬山西麓の殘敵掃蕩開始

【九江廿七日發國通】廬山西麓一帶に蟠居する敗敵は糧食の缺乏と寒氣に堪へかねて最近蠢動をはじめたのでわが松井部隊は廿七日拂曉から掃蕩を開始し猛擊を加へてゐる

小型軍船を爆碎

【〇〇基地廿七日發國通】わが山瀬飛行部隊は廿六日午後山西、陝西兩省を結ぶ重要渡河點たる禹門口及び船窩鎭を急襲、兩地點に集結中の小型軍船及び渡河施設を爆擊、これを完全に粉碎した

後藤見習士官に醫博號の贈り物

【蒲圻廿八日發國通】中支戰線に轉戰一年有半の激戰中倒れた傷病兵にやさしい救ひの手をさしのべ魂を打込んで治療に努めた坂本部隊の軍醫後藤末雄見習士官(宮城縣出身)にこのほど故郷から醫學博士號獲得のうれしい電報が到着同部隊傷病兵は心から喜び新博士軍醫殿萬歳を叫んでます〳〵信頼の念を深めてゐる、同見習士官は昭和七年東北帝大卒業後同大學病院に勤め診斷の傍ら研究に沒頭中昨秋應召して勇躍徐州大會戰、武漢岳州攻略戰に參加し砲煙彈雨下傷病兵の治療にメスをふるつた勇士で、軍醫室に少壯軍醫博士を訪へば、眞摯な態度で謙遜しながら語る

出征前病院で耳鼻咽喉疾患と血小板の關係について研究してゐました、飛び來る銃砲彈下で一刻も早く傷病兵を治療しなければならぬので危急に臨んだ醫者としてもつとも肝要なる冷靜な處置を戰場ではじめて體驗して自信が出來ました

蔣政權の政治的變動必至と見らる
―支那各紙報道―

【香港廿八日發國通】汪精衛の出國に關し歸一するところを知らなかつた當地支那紙の論調は廿七日朝夕刊よりやゝ落つきを示し、王寵惠が汪精衛を慰留するに努めたことゝ蔣介石が速かに重慶歸還を要請したことを重視し、この事實は汪が特別使命を帶びて歐洲乃至香港へ赴くとの說が無稽なることを證明したと斷じてゐる、又陳公博、周佛海が慰留に行つたと報じてゐる新聞もあるが、共產黨系漢字紙立報は陳公博、曾仲鳴等が相ついで辭職したゝめ汪の病氣療養乃至外遊說は全く破れ近く蔣政權に政治的變動があることは容易に看取されると論じてゐる

英米借款は却つて
財界に和平空氣釀成

【東京國通】英米兩國の對蔣援助は帝國の東亞新秩序建設の劃期的大事業遂行に伴ふ一小摩擦の現れとしてわが朝野においてもさして大なる關心を拂つてゐないが、支那方面においても餘り期待を有せざるもの如く、廿六日某所への情報によるも蔣政府系の有力金融家は

最近の英米借款は蔣政府の戰時財政については何等益するところなく却つて財界實業界は和平工作に有利な空氣を釀成せしめるものとして歡迎してゐる、しかして彼等の中には現に日本の占領地域內に營業再開を計畫しつゝあるものもぼつ〳〵現れて居り舊正月頃には相當具體的な形をとるものと考へられてゐる、この傾向に對しは國民政府も重大關心を拂ひつゝある模樣で十九日の新聞にも

日軍占領地域內に業務を復活せんとするものがあるが國民政府は事實調査の上嚴重取締をなす方針である

と警告し右の事實を裏書してゐる、右の如く支那財界ならびに實業界の困憊は想像以上に達せるもの如く一日も速かに帝國占領下の經濟都市に業務を開始せんとするは頗る注目に値する

語るに落ちた蔣

【上海廿七日發國通】蔣介石は二十六日國民黨記念集會の席上において近衞首相の聲明は中國を併呑し太平洋に覇をなさんとする日本帝國主義的野心を暴露したものであると長廣舌を振つたのち更に今回の汪精衛の出國說に言及、汪の出國が全く個人的事情によりなされたもので、黨に對する意見の相違によるものでないことを繰返し力說、汪の黨に對する忠節を切々の言辭を連ねて賞揚してゐるが全く語るにおちたものといふべく、汪の出國說が蔣介石に與へた打擊が如何に甚大深刻なものであつたかを如實に暴露したものであつた、即ち

今回汪精衛は雲南への途次固疾の心臟病のためハノイへ赴き治療したもので全く病氣療養のための旅行であつたが、時あたかも日本において近衞首相聲明の發表をみたのと同時であつたゝめ種々の流言が流布され、ドイツにおいて最も大なる反響を生み遂に汪は軍事委員會代表として日本と和平交渉をなすべく出發したのであるとの如き荒唐無稽な流言さへ流布せらるゝに至り諸外國をはじめ中國人にさへも多大の動搖を與へると至つたためこの間の事情につき特に聲明せざるを得ぬ事態に立至つたことを強調次の如く述べてゐる

汪精衛の行動が極めて眞摯なものであることは周知の事實でありこゝ數年來彼が黨國抗戰のため粉骨碎身もつて國事に處して來たことは中央同人の深く認めるところであり同時に蔣中正自らも深く感じてゐるところである、偶々偶然の事情によつて四川を出たゝめ遂に敵人に謠言流布の機を與へたものである、日本は今興亞院を設置し盛んに「日滿支不可分の東亞共同體」及び「東亞新秩序の建設」を強調、中國併呑の意圖を遺憾なく暴露しつゝあるとき時勢の認識に厚いわが中國人中には一人といへども日本との妥協和平を望むもののなきことを自分は敢へて斷言するものである、汪と中央同人及び汪と自分とは艱難をともにした深き關係にあり、吾々の間に於いては一として明言せざる話とてなく協議せざる事柄とてはない、若し異見あらば必ず公の討議に附するか或は自分と膝を交へて討論する筈なり、しかるにこの如き國家存亡の大事に關して中央同人並びに自分と相談せざることはあり得ざることである、汪は愛黨愛國の至誠に燃え國難に赴くの精神は必ずや抗戰の目的を貫徹すべき人物である、かゝるが故に巷間傳へられる流言に對しては國民はこれに信をおかざることを信ずる

東洋には東洋以外の國の干渉を絶對許さぬ
彭廣東治維會委員長談

【廣東廿八日發國通】廣東治安維持會委員長彭東原氏は廿七日午前在廣東日本記者團と會見約二時間に亙つて當面の諸問題並に彭委員長の抱懷する政策の根本原則に就て左の如く語つた

從來の政府は自己の政策を民衆に押賣して民衆の信頼を失ひ失敗した、自分の日支提携論は十三歳の時からの信念で、これは支那の發展の基礎をなすものであると確信してゐる、國民政府は日本から全く信用を失つた結果今度の戰爭になつた今日までの支那は多大の人命、財力等を犧牲にして了つた、自分はこの上一人の人命でも失ひたくない、そしてこれを將來の支那の發展のための人力、財力、物力にしたいのである、從つて自分は一刻も速かに事變を終結させたいと思ふ、現在日本帝國が新中國を建設するために努力してゐるので、一日も早くそれが實現するやうに祈つてゐる、自分の政治のやり方は人民の信用を得ると云ふことを根本條件としてゐるのであるから、そのためには多少永くかゝつても仕方がない、人民の信用を得る手段は教育である、教育の大方針をこゝに置きたい、從來一貫した方針なく朝に共產主義夕に反共主義を採つた三民主義も支那の一部には適合するが、これを全體に適用させることは無理だ、自分の主義は共產主義打破である、共產主義は支那の民族主義と合致しない、人民全體の信用を得ることは不可能なことだ、正しい政治は人民大多數の者の信用を得なければならない、其方法は簡單だ、東洋全體を平和にし、東洋全體の人間を安樂にする、そして東洋には東洋以外の外國の干渉を許さぬ、即ち東洋の平和、これが人民の信用を得る方法であると考へる、自分はこの方針に基き教育を改善したいのである

なほ「今後大廣東建設の際には第三國の權益に對しては如何なる態度を取るか」と質せば明瞭に

國際問題については愼重に考へて處置しなければならぬ、廣東にある第三國の權益は詳細に再調査して萬遺漏なき方法を取る考へである

と答へた

東京、下關間に四年計畫で廣軌複線
―新春早々實測開始―

【東京國通】大陸と內地を結ぶ朝鮮海峽トンネルを計畫してゐる鐵道省では急激な交通量の增加に對處するため、現在の線路とは別個に東京、下關間に廣軌(四呎八吋)複線を急速に實現すべく新春を期し實測を始めることになつたこの新計畫によれば東京、下關間を出來るだけ直線に結ぶ結果その延長は九百八十キロとなり現在の線路より約百キロを短縮されることになりこの線路に現在滿鐵で使用してゐる「あじあ」程度の高速機關車を使用すれば東京、下關間九時間五十分(現在特急富士は同區間十八時間廿五分)平均時速九十八キロ最高スピードは悠々百キロを突破することになる、更に若し現在ドイツで使用されてゐるディゼル・エレクトリック車によれば七時間四十分となり東京、下關間の日歸りが可能となるわけである、なほ右に要する建設費は約三億五千萬圓、車輛費約一億五千萬圓と見積られて居り着工後四年目には完成する豫定である

その日〳〵

□悠久な時の流れではある、しかし自ら區切りはある、この年を送つて新しい年へ

□意味無き如くでもあるが、何千年つゞけられたのには深い味ひもあらう

□所詮生きてゐる以上、時といふ觀念からは離れられぬわれらである

□最後の五分間が大事だといふ意味からなら、この殘る數日もおろそかには出來まい

□新京日本橋師走も暮れる、橋の上から眺めたら煤煙の[illegible]だつたつてね

畏くも兩陛下
野戰料理を召させらる

【東京國通】畏くも天皇、皇后兩陛下にはあらゆる困苦缺乏に堪へて勇奮する第一線將兵の上を思召され、御日常の御生活は御簡素を旨とせられ給ふ、承はるが天皇陛下には二十七日正午皇后陛下と御揃ひにて大奥御食堂に出御、御晝食に糧秣本廠から御取寄せの野戰糧食を召させられ戰線の勇士を偲ばせられた、かしこき思召に恐懼して大膳寮では前線將兵が調理すると全く同樣の調味料と調理方法で朝晝晩三食分を調理申上げたが天皇、皇后兩陛下には飯盒の粟粥を主食とし御晝食をはじめ左の御獻立にいちいち御箸をつけさせられつゝ材料や調理方法、榮養等に就て側近等になにかと御下問を賜はり殊に糧秣本廠の研究と苦心に就ては種々御嘉賞の御言葉もあらせられたるやにていと御滿悦にあらせられたと承はる

御前に供し奉つた野戰糧食の御獻立は

晝食　主食物粟粥、副食物豆麵、豚肉、干ホウレン草の煮付、梅干

朝食　主食物米麥飯、副食物携帶粉味噌、澤庵

夕食　主食物米麥飯、副食物干魚、牛蒡などの干野菜の煮〆め、福神漬

で右は何れも彈雨下に將兵が用ひるものと全く同樣のもので陛下には粗末な御料理に將兵を偲ばせられてかいと御滿足げに聞召され給ひ、御陪食仰付けられた百武侍從長以下側近者等は有難き大御心に只管恐懼感激申上げてゐる

酷寒を「飛行服で征服」グライダー練習
第二線の尖兵意氣軒昂
京中、京商班猛練習開始

航空第二線の尖兵滿洲飛行協會新京支部京中、京商班のグライダー冬季練習は廿八日から新京南飛行場で開始されたこの日練習會員八名ははち切れるやうな元氣を飛行服に包んで支部格納庫に集合、諸般の準備が整へ純白の愛機は所定の位置に搬出された、白一色に塗りつぶされた練習場は酷寒零下廿五度遠慮なく吹きつける北西の風は針で刺すやうに痛い、一同愛機の前に整列、阿部教官より滿洲では最初の冬季練習につきこまごまと注意が與へられいよいよ試練の滑空練習が開始された、凍野に谺するエンヂンの音もいと勇ましく自動車曳航のワイヤーは伸びる伸びる五十米、百米、百五十、二百頃はよしさつと曳航の索が斷たれるとコバルトの空に純白の機がくつきりと浮び輕快な滑空數刻の後大きな弧を描いて靜かに基地に着陸した、機上から降り立つた練習生の飛行帽からは呼吸が凍りついて針鼠のやうにつらゝが下つてゐる、だが意氣頗る軒昂

百米の高度で零下三十數度位に感じました、鼻が何より痛いです、しかし思つた程のことはありません

と初めての體驗を語つてゐた

また阿部教官は

實はこの冬季練習開始にあたり數日前大連の冬季練習の狀況を見て來ましたが、あちらは最も寒い時でも零下五度位のものですから大したことはありません、新京は全く最初の冬季練習でありどうかと思つてゐたが皆頗る元氣で張り切つてゐます、今回の冬季練習は明年二月に二級試驗をうけさせたいのでその準備であり、かたがた參考資料をも得たいとので試みたのです、豫定では五日間ですが都合によつては一月八日頃まで續けるやうになるかも知れません

【寫眞は冬季練習開始にあたり阿部教官の注意事項指示】

新春劈頭を飾る 氷上新人登龍門
三日、四日兩日兒玉公園で

銀盤上の制覇を目指す新人への登龍門としてスケーター待望の滿洲氷上競技協會主催〃第一回全滿氷上競技第二部選手權大會〃は來る新春劈頭三日、四日の兩日に亘つて兒玉公園リンクに華々しく開催することゝなつた、出場選手は全滿各省の精鋭でスピード六十名、フキギュア十二名、ホッケー四チームに及び本競技にて五等までの入賞者は第一部競技會に出場權を得るので實力一杯の白熱戰に盛會を豫想されてゐる、尚三日午前十時入場式を行ふ

拐帶犯人 東京で逮捕

市內入船町三丁目十一酒類販賣店興榮合こと吉井壽二氏方店員北海道雨龍郡妹背牛生れ佃岩武志(一九)は去月四日午後零時卅分頃主人から七百三圓五錢を南廣場興銀へ預金を命ぜられたるを奇貨としてそのまゝ拐帶逃走姿を晦した屆出によつて首都警察廳で全國に手配捜査中のところ東京水上警察署で逮捕した旨廿八日通報あつた

高知出の三人組 前借踏倒し

西五馬路三一金波內明美こと高知縣長岡郡東山町生れ高橋多摩之(二七)福江こと高知縣吾妻川郡津戶村生れ井上須美(二四)睦こと高知縣長岡郡州崎町生れ阪東實代喜(二五)の三名は何れも前借金二千圓で去る二十日連立つて來京同樓で働いてゐたものであるが、二十七日午前十時頃映畫見物に行くと稱して三名共風呂敷包片手に外出して二十八日朝に到るまで歸宅せず、僅か一週間働いたゞけで三人共謀で逃走しましたと四道街署へ屆出あつた

甘珠部隊長等 原隊歸還

皇軍に協力、熱河西南部地區に共產軍五千を潰滅、赫々たる武勳を輝かせて廿五日榮えある國都入りをした興安西軍管區甘珠部隊長以下凱旋部隊の幹部一行は軍狀奏上その他の滯京日程を終へ廿八日午前九時卅分新京驛發はとで于治安部大臣、平林最高顧問、薄田治安部次長はじめ關東軍代表、治安部、軍關係者多數の萬歲の聲に送られ原隊へ歸還の途についた

中央通署を通じて 花街の一年回顧
藝、酌婦は昨年より增加

中央通署保安係の毎日をなごやかにした艷風景、藝妓、酌婦、女給さてはダンサーの移り變りの數々を昭和十三年將に暮れなんとするに當つてこの一年を調べてみるとその數字の多いのに成程これでは毎日賑やかだつたのも當り前と思はせるものがある、先づ藝妓は大新京檢番が許可二百六名、廢業百五十四名、ダイヤ街檢番は許可八十一名、廢業五十九名で併せて許可二百八十七名、廢業二百十三名で、藝妓の數が昨年より七十四名增してゐる、酌婦は內地人、半島人併せて許可三百三十五名廢業二百三十三名とこれも約百名の增加であるが、滿人酌婦は反對に許可三百九十一名廢業四百八十五名で約百名の減少である、次いでネオン街の女給さんは許可五百十一名廢業五百十二名で僅か一名の差を示してゐる、ダンサーは許可七十一名、廢業七十九名これらを全部合計すると許可一千五百九十五名、廢業一千五百二十二名といふ數字である、以上を現在數の藝妓四百三十五名、日人酌婦二百二十名、滿人酌婦六百名、女給五百十名、ダンサー百二十名から見ると藝妓、滿人酌婦、ダンサーが約七十パーセント變つてゐるのに對し、日人酌婦女給がほとんど全部新陳代謝して一回轉してゐるのはこの世界の目まぐるしい變轉振りを示してゐるものであらう

惠まれぬ人達に あす同情金分配
浮び上る六千三百卅三名

〃寒い年末溫い同情〃國都に居住する惠まれぬ人達を救濟する第四回歲末同情週間は、去る十九日より廿五日まで七日間に亘つて實施、市民より贈られた溫い同情金は廿七日現在五千六百八十九圓二十六錢で廿八日も續々寄贈者あり市社會事業聯合會では整理に忙殺されてゐるが、ほかに協和會より救濟費二千二百二十五圓七十五錢の支出あり總計約一萬圓に及びこれが分配方法について廿八日午前十時半より市公署會議室に於て分配委員會を開催、窮民內地人六十三名、半島人二百三十名、滿人六千名、露人四十名計六千三百三十三名に對する分配處分を協議した、半島人、滿人には舊年末を期し分配、內地人、露人に對しては愈よ二十九日隣保委員の手を經て一齊に配布することゝなつた

大王家島燈臺竣工

政府は建國以來國內產業及び海外貿易促進をはかるため曩に奉天省復縣北角並びに錦西縣壺蘆島高角に燈臺を建設したが今度更に本年七月以降莊河縣大王家島南端に燈臺を建設中の處最近工事竣工、愈々明春一月元旦より點燈することゝなつた、右燈臺の新設により大連、安東間の航路が短縮されるはかりでなく附近航行船舶の安全を保障し且つ航空機の目標としてその利便は大である、尚本燈臺の要項は左の如くである

一、燈臺名稱　大王家島燈臺
二、位置　所在地　莊河縣大王家島南端　北緯　三九度二五分四五秒　東經　一二三度四分四二秒
三、構造及塗色　圓形鐵筋コンクリート造、白色
四、等級及燈質　第三等、閃白光、毎十秒閃光
五、明弧　全度
六、燈高　基礎上一〇米　平均水面上一〇四米七
七、光力　一一〇、〇〇〇燭光
八、光達距離　二十六浬
九、記事　常置看守員

窒息三名死亡

廿八日午前八時頃市內西七馬路八號居住山村豐店職人張富貴(二九)方ではいつも起床する時刻に表戶が閉ざされてゐるを隣家の者が發見、不審に思ひ新市場派出所員立會で室內に押し入つて見たところオンドルに就寢中の張は瀕息奄々として虫の息、妻女不氏(二五)及び長女(一〇)、長男(七)の三名は絕息死亡してゐた、張は直ちに市立醫院に擔ぎ込み手當の結果生命はとりとめる模樣である、急報に首警司法科及び四道街署司法係員急行現場を檢證したが一家は室內を密閉就寢しオンドルの焚き過ぎから瓦斯が充滿窒息死亡したものであつた

◇……國務院の御用納め

滿洲興銀異動

哈爾濱支店支配人浦川秀信氏の滿洲鑛業開發會社轉出、金州支店支配人死亡等に伴ふ異動を左の通り發表した

哈爾濱支店支配人　浦川秀信
參事を命ず(新京本部勤務)

新京南廣場支店支配人兼日本橋通支店支配人　田中麟太郞
哈爾濱支店支配人兼哈爾濱傅家甸支店支配人を命ず

哈爾濱傅家甸支店支配人　木原猛良
新京南廣場支店支配人兼新京日本橋通支店支配人を命ず
(十二月二十七日付)

龍井支店支配人　顯澤茂
參事を命ず(新京本部勤務)

庶務課副課長　大原吉五郞
龍井支店支配人を命ず

貔子窩支店支配人　蛇口辰三
普蘭店支店支配人兼務を命ず

普蘭店支店支配人　郭光儀
金州支店支配人を命ず
(十二月二十一日付)

首警御用納め

首都警察廳では廿八日午前十一時より本廳講堂に於て曩に治安部大臣より精勤表彰された管下警察官中警佐村上末以下九名に對する表彰傳達式を全廳員參列の下に嚴肅に擧行、次いで御用納式に移り于總監より一場の訓示あり終了後廳舍の大掃除を行ひ午後二時副總監巡視あつて本年度の最終行事を終了した

泥醉の末 大道で危く凍死

廿七日午後九時頃長春大街と大經路の交叉點北側角の路上に於て零下三十度骨をさす寒風に吹きさらされつゝ倒れてゐる一內地人男あるを通行人が發見四道街署に急報、係員が駈けつけて見ると男は冷たく人事不省となつてゐるので直ちに本署に擔ぎ込み應急手當の結果約三十分程して意識を回復した、取調べの結果この男は市內某官廳勤務角久吉(三二)で酩酊の擧句大道とも知らず寢入つてゐたものと判明、嚴重訓戒の上釋放した

國防獻金

二十七日午後順天警察署長松原清次郞氏から同署へ委託された國防獻金三つ合計四十二圓四十三錢を寄託があり直ちに所定の手續を了したがその內譯は

一、八圓四十三錢、豐樂路七一六佐藤田壽子さんが買物の剩錢の銅貨を蓄積したもの
一、三十二圓五十錢、同佐藤宇三郞氏が正月の門松飾を廢した代金十五圓と廢物を賣却した十七圓五十錢を併せたもの
一、一圓五十錢、豐樂路富士ビル三階小穴ミズヨさんが拾得物の報勞金として貰つたもの

人事往來

▲新京
▲實吉吉郞氏(滿鐵社員)二十七日來京ヤマトホテル
▲田中知平氏(商業)同
▲勝野太氏(會社員)同
▲桑田信一氏(牧師)同
▲佐藤亥子藏氏(商業)國都ホテル
▲前田重雄氏(鑛業)同
▲檜谷萬寺造氏(同)同
▲高杉藤治郞氏(會社員)同
▲赤刎信三氏(滿拓)同
▲笠原謙一氏(會社員)同
▲宮關德平氏(水電技正)同
▲藤原賢氏(滿鐵社員)同
▲野村虎雄氏(電氣技師)同
▲近藤正郞氏(會社員)滿蒙ホテル
▲竹內精一氏(同)同
▲原幸平氏(同)同
▲鈴木巖氏(同)同
▲柿沼頭一氏(計器製造)ニューアジアホテル
▲森永五郞氏(官吏)同
▲加藤正司氏(同)同
▲內山田多樓氏(會社員)大都ホテル
▲山田修氏(官吏)同
▲池永完一氏(會社員)同
▲藤岡一齊氏(技師)同
▲長友憲二氏(官吏)同
▲紀伊哲藏氏(土建業)同
▲平島弟三氏(材木商)同
▲佐藤喜代太氏(官吏)同
▲石井春造氏(會社員)都ホテル
▲帶金國男氏(官吏)同
▲佐々木清吉氏(飼料配給會社員)帝都ホテル
▲靑山政吉氏(土木業)同

伏谷大佐歸任

北支の情勢視察のため十五日新京を出發した駐滿帝國大使館附武官伏谷海軍大佐は靑島、濟南、保定、北京、張家口、大同、天津各地を視察承德を經て二十八日午前八時の列車で歸任した

今晩の主なる放送

▲七・三〇國民歌謠(東京)▲八・〇〇支那事變歌繪卷(新京)笑丸外▲八・四〇俚謠(松江)▲八・五五連續ラヂオ小說(東京)古川綠波一座

國都映畫　業界の一年 (三)

和田郁夫

その他の各館の景況を省ると、大體この一年を通じての内地各映畫會社の作品の興行的聲價の高低をその儘に受繼いでゐたやうである。

長春座は昨年度の壓倒的好況に比して本年度は松竹作品の低調さに禍ひされて、決していゝ成績に終始してゐたとは言ひ難く、絶えず變動ある客足に相當苦戰を續けた、豐劇に昨年この館でヒットした作品が二番プロとして放列を布いてゐたのも、最近二番線を得るまでのことには大きな痛手であつた、然し十一月相次で封切られた「家庭日記(前後)」「愛染かつら(前後)」は漸く好調を取り戻した松竹作品中の最大ヒットプロであつて、不振を埋め合はすに足るだけの好景況を見せた。

□　□

新京キネマ、銀座キネマも同じく内地プロの景況を踏襲するとによつて夫々特色ある行き方を見せ、新キネのは「人生劇場殘侠篇」「五人の斥候兵」「路傍の石」「北へ歸る」等藝術的に聲價の高かつた作品が何れも異常な好成績を收めてゐることに注目される、銀キネは「血」もの「魂」もの等の商魂逞ましき怪作品に惠まれ、新興六車企畫以後の商品は何れも强烈な當りを見せ、これに大都作品を側面的に布陣して、昨年の經營上の不安材料を淸算して正しく飛躍的立直りを見せたと言へやう。

朝日座に就いては材料を得てゐないので判つきりしたことは言へないが、大體固定した地盤を張つて好調な歩みを見せてゐたやうである。

□　□

二本立興行制の實施により最初の裡はメートル數の多いものはよかつたが、さうでないせいぐ一時間程度のメートル數しかもたないものが二本並んだ場合には、ニュース短篇を加へても一興行二時間半を出です、常設館側の番組演出に困難を感ずることが多かつたが、現在においてはこのやうな特殊の際には三本立が許されてゐるやうである。

又、番組演出を充實し多彩化するために屢々アトラクションが利用され始め、ためにカスの如き内容貧困のアトラクションが氾濫し、これが善良な觀客大衆を惑はす爲の悪用となつて、遂に取締り當局から條件付きの警告が發せられ漸く終熄の形となつた。取りあげて言ふ程のものはないが受けたものには早川少女タップ一座(銀キネ)淺草〆香一行(帝キネ)などが記憶されるぐらゐのものである、その他では帝キネが「第九交響樂」封切に際して行つた哈爾濱交響樂團の舞台演奏が、高級[illegible]層を狙つた良心的な企畫として特筆されやう。

□　□

ナイトショウ大當りの延長からでもあるまいが、モーニングショウといふ新企畫が現はれた、新京キネマの「續水戸黄門漫遊記」封切に際しての午前六時開場など、觀客へのサービスを超越した珍事に屬するものであつた、遠からこれには取締當局も顰蹙したものと見え二度とは許可しない旨を内達したさうである、然しながらこれは一面この館の好調を裏書きするものであり、現在では曾ての排他的な色彩を全く清算して、その地の利を活用して廣く大衆層に馴染れてゐるのは今後に期待するところ多しとされやう。

なほ、この他に〇月市公署の税制整備に伴つて觀覽捐を觀客の負擔とする木戸の新しい約束が生れ、この方面における在來の悪習が一應排除されたのは、觀客層への影響を度外視する時には、業界明朗化の方向への快よき移行を示したものであつたと言へやう。

發奮を望ましいのは折角結成された全滿常設館聯盟の存在であつて、今年は何ら見るべき仕事を殘さず、宴會のための口實にのみ利用されてゐたかの感があつたのは遺憾であつた。これでは何ら存在の意味なしと言はれても仕方あるまい。來年度の起上りを期待しやう。

サボテン

時々愉快な表情をしてお客から不思議がられるマルセーユの菓子クン、何をさせても器用である▲或る晩酔客から求めらるゝまゝに指角力をやつて、勝ちました〳〵の連勝振りに愉快な表情にピッチを上げて酔客をクサらして曰くだ▲妾やこれでも角力にかけちや自信がありますの、四十八手裏表を心得てをりますからどんな苦手も平氣の平チャンよと巧みた啖呵を切られて仕舞つて酔客氏モトローとヒて引下がつたようであつたが菓子クンと角力を取つて見る勇者はありませんか

東京・本郷・神誠館

十二月廿九日 木曜　乙未　赤口　危　井宿　舊十一月八日

- 一白の人　兎角鋒先の鈍り易き日萬事終りを注意せよ　庚と辛と戌が吉
- 二黒の人　前後を省みざれば逆運に見舞はるゝ事あり　丁と未と庚が吉
- 三碧の人　質朴にして浮華に流れず物事手堅くすべし　甲と乙と丁が吉
- 四緑の人　妄りに進まず程を守り自然の發展を待つ日　甲と乙と丁が吉
- 五黄の人　進むには勿論のこと守るにも十分考ふべし　丙と丁と未が吉
- 六白の人　此まで滯り居たる事も追々解決に近づく日　未と壬と丑が吉
- 七赤の人　悦びあり氣緩みせぬやう注意して働くべし　未と庚と癸が吉
- 八白の人　筋目正しく辛苦に屈せず復活の時を待べし　丁と庚と丑が吉
- 九紫の人　午前は吉なれども午後は苦情に逢ひ易き日　丙と未と丑が吉

商況欄 二十八日前場

外國電報

倫敦金塊 休
紐育金塊 三五弗〇〇
倫敦銀塊 休
同先物
紐育銀塊 四二仙四分
需買銀塊 五一留比二六分五
會

▲市俄古小麥
十二月限 六八仙〇〇
五月限 六七仙八分五
七月限 六八仙四分一

▲紐育棉花
現物 八仙七八
一月限 八仙六三
三月限 八仙三三
五月限 八仙一五
七月限 七仙八五
九月限 七仙五四
十二月限 七仙五九

▲印棉
ブローチ 一六〇留比八分七
オームラ 一四七留比八分五
ベンゴール 一二二留比八分三

カルカッタ麻袋
鐵筋 二三留比八分七
青筋 二六留比二分一

▲紐育株式
スチール株 六六弗八分三
アナゴンダ株 三四弗〇〇〇

外國為替
米英為替 四弗六六仙二分一
米日為替 二七弗二一仙
米支為替 一六弗七五仙
米佛為替 二仙六三、二分一
英米為替 休
英日為替
英支為替
英獨為替
印日為替
會

▲滿洲中銀為替
紐育向 二七弗六六分三
倫敦向 一志二片〇〇〇

阪神為替
對米賣 二七弗 三三分七
對米買
對英賣 一志二片 〇〇一
對英買 六四分

各地株式市況

▲東京株式(短期) 寄付 大引
新東・大新・鐘紡・帝人・洋紡・日新・郵船・同新・日石・日立・日産・滿電・東電・日電 [illegible]

▲大阪株式(短期)
滿鐵・日魯・新・大新・鐘紡・東洋・日(本)… [illegible]

▲大連株式(短期)
五品・東新・滿業・同新・鐘紡・藤木・土新・豆・大… [illegible]

各地商品市況

大阪綿糸 納
十二月限・一月限・二月限・三月限 [illegible]

▲大阪綿布 納
十二月限・一月限・二月限・三月限・四月限・五月限・六月限 [illegible] 會

▲東京人絹
當限・先限 休 會

▲大阪棉花 納
十二月限・一月限・二月限・三月限・四月限・五月限・六月限 [illegible] 會

▲大阪期米
當限・中限・先限 休 會

▲大阪人絹 納
十二月限・一月限・二月限・三月限・四月限 [illegible] 會

▲横濱生糸
現物・當限・先限 [illegible]

各地特産市況

新京
大豆 寄 引 出來高
先物 十二月限 一月限 [illegible] 車

▲大連
大豆 寄付 大引 [illegible]

袋入 十二月限・一月限・二月限・三月限・四月限 [illegible]
豆油 現物・一月限・二月限・三月限・四月限・五月限 [illegible]
豆粕 現物・一月限・二月限・三月限・四月限・五月限 [illegible]

新京取引所納會
新京取引所は二十九日の前場で納會來春の初立會は四日である

◎カゼに注意◎

たちの惡いカゼが流行って居ります。カゼは萬病の本と申して肺炎とは兄弟一樣です。

冬の滿洲少々ツライですが神風散あれば大丈夫です

かぜにようきく ねつに

藥價五拾錢

神風散(かみかぜさん)を服用あれ

新京興安大路六〇六
あじあ藥局
電話(2)一四四一番

獨特自慢の自製靴
タケヤ靴店
三笠町二ノ一 電3五二二六
電話下されば遠近に不拘お屆けいたします。

お正月用重詰
御引受致します

五圓より 十圓
十五圓 廿圓まで

祝町三丁目青陽ビル一階
鍋の店 魚力
電話(3)六八〇五番

お正月の演藝案内

いさみ會

◎新春のお親みは先づ公會堂の漫才から
◎絶對の色物豪華奇想天外の爆笑陣

東西漫才名匠名流大家
顔見世競演

正月元旦より五日間(一日より晝夜二回興行です)
於 記念公會堂

新春第一週 堂々封切

エンタツ・アチャコの(高勢實乘特別應援)
忍術道中記

皆さんお正月は先づ笑ひませう

「水戸黄門漫遊記」で全國を爆笑廻國に味を占めたエンタツ・アチャコの御兩人、今度は忍術をして又々全國笑爆のプランをたてました! サア皆さん正月第一週のこの娯しい「忍術道中記」を御期待下さい

同時封切
「主婦之友」連載 久米正雄の
吾亦紅(われもこう)
入江・高田・大日方 三大優顔合せの佳篇

帝都キネマ

新しき門

婦人俱樂部所載
原作 中野實

山路ふみ子
立松晃
美鳩まり
山口勇
半井乾代子 共演

新興東京の超特作篇

教え子のために身を裂き骨を碎き總ての自分を犧牲にして盡す師弟愛の美しき眞髓を見よ

出たッ! 闇に響く悲鳴! 血笑する劍鬼の影
戀? 呪咀? 復讐? 紫頭巾の劍魔縱橫篇!

颯爽羅門光三郎の
つむじ風紫頭巾

高山賓子・松浦妙子・原聖四郎・竹者三郎・杉本田三郎・東良之助・舟渡邦之介・横咲草之助・石井健・共演

脚本・澤一郎・演出・木藤茂
新興大都新興次郎當崎川影撮作

荒鷲の華

新興

陸軍省普及部
作 責任 山口少佐
六車修
本山 陶村 北小松 衛
曾根千晴 出

藤井貢・岩田右
河津清三郎・藤野秀夫
大内弘・(松竹より)
清水將夫・植村謙二郎
大井正夫・浦邊粂子
田中春男・淡島みどり
生方壯兒・山路ふみ子
淺田健三・髙野由

中支〇〇飛行基地に大ロケを敢行せる日本映畫空前の劇化

東洋和平の聖戰のため南昌空爆の華と散りし國民の至寶故南少佐の英靈に謹んでこの一篇を捧ぐ!

新春の銀幕に輝やく豪華名畫公開

31日より!
銀座キネマ

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙 一部五錢 一ヶ月壹圓 / 定價 郵税 一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 / 特別 一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(③)三三二〇 營業局專用(③)三三二〇五
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

各部隊嶮峻を冒して 刻々包圍圈を縮小
晋西の敵殲滅の期迫る

【北京廿八日發國通】廿五日拂曉を期して開始された晋西大掃蕩戰の戰局は攻擊三日に達せぬ廿七日夜までに著しく進展し敵の根據地たる汾河、黃河の兩河に挾まれた山岳地帶は我が北上西進兩部隊及び廿七日早朝汾陽、中陽を進發した南下部隊により東南北の三方より完全に包圍され各部隊の嶮峻を冒しての猛進擊は各所にその包圍を縮小しつゝあり、斯くて山西に蠢動する最後の敵は刻々潰滅の運命に近づいてゐる、即ち

一、襄稜附近進發の三村、十河、淸水、米川の各部隊は前面土門村陣地を突破してその先鋒は廿七日夜要衝蒲縣に突入更に西進しつゝあり

二、河津附近進發の山根、山崎、中山の各部隊は激戰の結果廿八日夜までに敵の重要退路たる禹門口船窩鎭兩黃河渡點を奪取せり

三、谷口、澁谷、金森、松井の各南下部隊は二十七日午前中に孝義東方十キロ東舗鎭、樓底鎭を占領南下しつゝあり

これにより敵は西北方、北方、西南方の三方面に壓迫され退却を續けてゐるが大寧街道を快速進擊するわが進擊部隊は南北より潰走する敵退路を奪ふとゝもに飛行隊爆擊を以て後方及び退路の要點を覆滅するなどわが巧妙な捕捉潰滅戰は早くもその完成に近づきつゝある

大寧、吉縣を粉碎

【臨汾廿八日發國通】閻錫山軍膺懲に適切なる協力をなしつゝあるわが○○飛行部隊は廿七日大寧(山西省西南部)を空襲し敵軍事施設及び地上に蝟集せる大部隊に爆擊を敢行大打擊を與へ、又一方○○機編隊は靈石西方文字原附近に集結中の共產軍第百十五師約一千に巨彈の雨を降らせこれを潰亂せしめた、なほ離石を中心に執拗なる蠢動を續けつゝあるこれら共產軍第百十五師は最近大寧を南方より移動中わが○○部隊により粉碎せられたものである

【臨汾廿八日發國通】吉縣、大寧方面に對するわが空爆は連日的に敢行されつゝあるがわが山瀨爆擊隊は廿八日午前十一時頃復又大寧、吉縣を空襲敵既設陣地及び蝟集せる敵部隊に猛爆を浴せ、これを潰亂せしめた

石樓、隰縣を急襲

【北京廿八日發國通】廿七日午前山瀨部隊の中村、兒森兩部隊各○機を以て山西省石樓及び隰縣を急襲、雪崩を打つて潰走する敵を擊滅、退路を遮斷し敵が北方への遁走を斷念せしめると共に地上○○部隊の戰鬪に協力して多大の戰果を收めたり

第七十四議會開院式記念撮影

中國航空公司香港事務所を閉鎖

【香港廿八日發國通】米支合辦の中國航空公司は香港に於て業務を開始してより既に二年になつたが、廣東陷落後營業不能となつたゝめ明年一月一日から同公司香港事務所は閉鎖し事務員一名を汎米航空會社內に置き殘務整理及び聯絡に當らせることゝなつた

杉山最高指揮官
外人記者團と會談

【北京廿八日發國通】杉山新最高指揮官は廿八日午後四時半軍司令官々邸に在京外人記者團を招待しレセプションを催した、集る者、英、米、佛、獨、伊以下各國新聞通信記者卅餘名、杉山最高指揮官から

私は先月末寺內大將に代つて着任しましたがその後非常に多忙であつたので諸君にお目にかゝる機會がなかつた、今日はじめて御挨拶する次第であるが、諸君が今日まで北支の新事態について多くの通信を御國に送られたことに對して謝意を表します

との挨拶あり、續いてI・N・Sのゲテイ氏から

閣下は御着任に當つて我々に會見の機會を與へて下さつたことを感謝します、我々は最近軍報道部の御好意で蒙疆地方の旅行をさせて頂きましたがこれは非常に參考になりました、又毎日定時會見の便宜を與へて下さり諸種の情報を知らせて下さいますがこのやうな便宜は我々が正しい電報を打つため非常に資するところ多く非常に感謝してゐる次第である、將來更に斯樣な機會を澤山與へて下さるなら巷間の噂等一掃され正しい通信のみ世界に紹介されることになると存じます

と答へ談笑裡に約一時間の會談を續け五時半レセプションを終つた

五中全會無期延期

【上海廿八日發國通】重慶來電によれば、去る十五日開かれる豫定であつた五中全會は遂に開催されず、その後蔣政權は五中全會に關する一切の報道を禁止し問題を嚴秘に附して來たが、廿七日に至り

一、五中全會は豫定の十五日には開催されなかつたこと
二、同會は開會延期となつたこと

の二點に限り發表を許可する旨を公表した、なほ實際の開會が何時になるかは未だ不明である

西南諸將領の無力ぶり

【廣東廿八日發國通】頽勢挽回に必死となつてゐる蔣介石は、特に南支方面軍閥の勢力統一に狂奔してゐるが、既に中央方面の實力低下を知つた同方面第一線部隊は何れも中央に對し次ぎの如き要請或は報告をなし、凡そ蔣の企圖とは反對にますますその無力振りを如實に示してゐる

一、南草より(三水西方約八キロ)淸遠南側に至る九十支里に亘る區域を擔當する張君嵩旅長は裝備の劣惡と訓練の不充分に因り、かゝる廣大なる正面防備を擔任しては日本軍の進擊を阻止し得ず宜しく增兵又は防備正面の縮少を圖られたし、然らざれば自ら陣地を撤して後退すべしとの公電を發した

二、詭門並に同南側地區の各部隊長及び高明縣自衞司令は各擔當地區に騷擾並に逃亡者續出しつゝありこれが防止方に對し指示を請ふ旨の電報を發した

三、羅定の第三補充團長及び高州(羅定西南約百十キロ)の第十保安隊團長は十二月末までに團の成立を要求せられたるも應募者なしと報告した

四、橫石以北の北江に水中障碍の設置を命ぜられて連江口に赴いた李春長連長は同地方は糧食の補給をなし得ず、ために約半數の兵は逃亡し一部は日本軍に投下せりと報告した

動搖隱蔽に躍起
汪出國に大公報社說

【香港廿八日發國通】廿八日の大公報は社說に於て汪精衞問題に關し左の如く論じ、汪精衞の重慶歸還の望みを失ひたるが如き口吻を洩し且つ蔣政權內部の動搖隱蔽に躍起となつてゐる

抗戰、建國時代における淘汰作用は迅速に且つ廣大であつて時代の潮流は僅かの波動にのつて停止するものではない、今次の前線からの退出は絕對に大局を搖すものでない、汪精衞に對する吾人の見解はこれに盡きる、われわれはこの際特に警戒を深め黨派の私仇を淸算し全力を以て日本に向ふべきだ、この意味からして特に軍事を重視すべきであつて黨政領袖の進退は何人たるを問はず問題とならぬ

四手井武官歸京

【東京國通】畏き邊りより御差遣の四手井武官は二ヶ月に亘つて中南支方面の第一線部隊に聖旨並に令旨を傳達の上各病院に戰傷病兵を見舞ひ重大任務を達成して廿八日午前七時十分東京驛着歸京、少憩の後直ちに參內、宮中の御都合を伺ひ天皇陛下に復命申上げることになつた

漁業問題と北鐵協定
全然別個の問題
滿洲國 ソ聯の猛省促す

日ソ漁業暫定協定交涉は交涉の核心問題たる安定漁區について日本政府の現狀維持主義とソ聯側の競賣主義とが對立したまゝ東郷、リトヴイノフ會談は遂に妥協點に到達せず第九次會談を以て持越すこととなつたが、ソ聯側はこの問題とは何等關係のない北鐵讓渡金支拂問題等の懸案を持出して交涉成立の遷延を企圖してゐるので、滿洲國外務當局は右の如くソ聯側が日本政府に對して抗議がましき態度に出てゐる北鐵讓渡金支拂問題に對する滿洲國政府の立場を明にするため去る廿八日在哈外務局下村特派員をして哈爾濱ソ聯領事館を通じ口頭を以てソ聯政府に左の如き通告を發しソ聯側の猛省を促した、即ち

滿洲國政府は北鐵讓渡協定に基く一切の債權債務關係に於て何等違反行爲をなした事實なきことは世界列強の認めるところであつて、ソ聯側が日ソ漁業交涉に於て殊更に滿洲國側が北鐵讓渡金を支拂はざるが如きことを強調して交涉成立の遷延を企圖してゐるのは誠に遺憾である、ソ聯側こそ北鐵讓渡協定に於ける退職金問題その他の取極めを蹂躪して本問題處理に多大の支障を來さしめてゐる、依てわが滿洲國政府は北鐵讓渡協定の精神に立脚してこれ等問題の處理を圖るため代理辦濟を行ひ、之がため過般ソ聯側に對し最終北鐵讓渡割附金と代理辦濟金との相殺を提議したのである、然るにソ聯側は其後本問題に就き何等の回答をなさゞるのみか却つて日本政府に見當違ひの抗議をなし、滿ソ兩國で解決すべき本問題を今日に於て日ソ漁業協定問題と關聯せしめ日本政府の責任なりとするソ聯側の非紳士的にして日滿ソ三國の友好關係を阻害するが如き態度を悲しむものである、滿洲國政府は再三聲明したるが如く北鐵讓渡金支拂を拒否するものにあらずして滿洲國側のなしたる代理辦濟に對してソ聯側が誠意ある回答と態度を示すに於ては正々堂々本問題を解決する用意がある云々

ソ聯回答を回避

滿洲國外務當局はさきに在哈下村特派員をして北鐵讓渡金支拂問題に對する滿洲國側の態度並に日ソ漁業交涉とは別個の懸案なる旨を明にし、ソ聯政府に別項の如き通告をなし、ソ聯側の反省を促すところあつたが、ソ聯側は右滿洲國側の通告に對し何等の回答も寄せざるのみか極めて不遜の態度を持してゐる

海鷲、柳州を攻擊
惡天下、低空爆擊敢行

【上海廿八日發國通】艦隊報道部廿八日午後四時發表＝昨廿七日南支方面にあて海軍航空隊は江西省の敵空軍據點柳州を攻擊し多大の戰果を收めたり、即ち野中大尉及び新鄕大尉の指揮する○○機は惡天候を冒し突如同地飛行場上空に現はれ數ヶ所の高角砲陣地より猛烈なる砲擊をうけたるも低空爆擊を敢行飛行場西側の大型建築物數棟及び滑走路を爆破したほかまさに離陸せんとせる敵大型飛行機一機を大破顚覆せしめた、空中に敵機を認めずわが方損害なく無事歸還せり

滿洲國人事
濱田畜產局長黑河省長に榮轉

廿八日の持廻り臨時國務院會議に於て左の人事異動を決定明年一月一日發令されることゝなつた

兼任馬政局長事務取扱 治安部次長 薄田美朝
任黑河省長 畜產局長 濱田陽兒
任產業部畜產司長 黑河省長 王子衡
任總務廳參事官 產業部建設司長 王慶璋
任開拓總局理事官 總務廳監察官 高倉正
補總務廳庶務科長 敍薦任一等 產業部監理科長 都甲謙介
任總務廳監察官 敍薦任一等
任開拓總局理事官(薦任三等)補招墾處第一指導科長 產業部事務官 毛利佐郎
陞敍簡任二等 產業部技正 紺野德
依願免官(一月五日附) 畜產局技正 堀尾正朔
任馬政局技正(簡任二等)馬疫研究處研究官 安達誠太郎
兼任馬政局技正(簡任二等) 大陸科學院研究官 宮島忠雄
依願免官 建昌縣副縣長 佐藤朝海
任龍江省警務科長(薦三) 吉林省事務官 小松仁平
任龍江省特務科長(薦三) 興安省特務科長 島村三郎
任三江省特務科長(薦三)
東寧縣警正兼牡丹江省事務官 影山八潮樹
任錦州省司法科長(薦三) 安東省警務科長 細地家久
任濱江省警務科長 龍江省特務科長 羽田野平三
任安東省警務科長 黑河省警正兼黑河省事務官 柏葉勇一
任熱河省教養警察科長(薦三) 治安部事務官 多田潔
任牽天省警務科附(薦三) 綏中縣警正 大瀨幸吉
任東寧國境警察隊々長(薦三) 赤峰縣警正 神尾千年
任興安西省特務科長代理 興安西省警正 綠川勝治
任濱江省地方警察學校主事 熱河省警察官 山田正元
任濱江省地方警察學校教官 濱江省督察官 立田寅太
任奉天省警正外事科長 今島壽吉
兼任奉天省特務科長 琿春縣警正 佐藤五郎
任海城縣警務科長 琿春縣警正 藤原繁一
任山海關警察署長 青山縣警務科長 城野正
任青龍縣警務科長 青龍縣警正警務科長 池尾身之吉
任永吉縣警務科附 永吉縣警正 谷口新五郎
依願免官 鐵嶺縣警正 川上藤松
任琿春國境警察隊本部附(薦三)
任總務廳事務官 龍江省理事官 飯塚富太郎
兼內務局事務官 海城縣警正 太田淸作
任治安部事務官 奉天省警務科長 西辻定彥
任濱江省庶務科長 濱江省拓政科長 岩尾精一
濱江省庶務科長 大塚讓三郎
任同農林科長 黑山縣副縣長 川瀨石仙
任濱江省高等教育科長 昌圖縣警正 藤原繁一
任濱江省長官房 首都警察警正 平尾正雄
任通化省長官房 治安部事務官 富永淳二
任管理局(企畫科) 濱江省官房 西瀨戶秀夫
任安達縣副縣長 總務廳事務官 阿部守英
任撫松縣副縣長 新京特別市事務官 高田千秋
任錦西縣副縣長 三江省特務科長 有本俊夫
任黑山縣副縣長 農安縣副縣長 佐治誠吉
任科爾沁右翼旗參事官 錦州省司法科長 成田良三
任彰武縣副縣長 富錦縣警正 片岡甚太郎 小杉信男
任熱河省官房 海城縣行政科長 韓連呂
任遼陽縣行政科長 奉天省實業廳 曲澤潤
任海城縣行政科長 奉天省官房 何樹春
任興安縣財務科長 科爾沁右翼旗參事官 井手俊太郎
任興安局事務官 通化專賣署長 傅國賢
任安東專賣署長 專賣署事務官 崔福坤
任通化專賣署長
△馬政局官制新設に伴ふ理事官級任命は左の如く一月一日發令の豫定
任馬政局理事官 畜產局理事官、敍薦任一等 田中由五郎
補馬事科長
任馬政局事務官、敍薦任一等 國立種馬場長 矢島鐵太郎
補資源科長
任馬政局理事官、敍薦任二等 畜產局理事官 張鳳翼
補馬務科長
任馬政局理事官、敍薦任三等 畜產局馬政官 于慶級
補馬疫科長
任國立種馬場長、敍薦任三等 畜產局事務官 新野新平
補新京國立種馬場長

產業部異動

產業部機構の一部改革に伴ふ理事官級異動は明年一月一日附左の如く發令される豫定である

補產業部工業科長 產業部參事官 湯關淵
補畜產局畜產科長 畜產局理事官 楊白鶴
補畜產局獸疫科長 畜產局技正 宮內忠男
補產業部理事官 開拓總局總務處理科長 張明徵
補開拓總局總務處計畫科長 產業部理事官 張國賢
補同招墾處監理科長 平川守
補同第二指導科長 尹相溥
補同第三科長 趙恒貞
補同總務處土地科長 福田一
補鐵道調工程處總務科長 產業部理事官 川崎辰美
補工務處調査科長 產業部技佐 高野宗久
任水力電氣建設局技正、敍薦任二等 高野宗久
兼任產業部技正、敍薦任二等
△明年一月一日發令される豫定の地籍整理局廢止に伴ふ人事異動は左の如くである
鑛工司勤務を命ず 地籍整理局理事官 權藤繁治
任稅務監督署理事官、敍薦任一等 補濱江省稅務監督署科長 地籍整理局理事官 孫成謀
任司稅官、敍薦任三等 補營口稅捐局長

陳公博香港に到着

【香港廿八日發國通】當地大公報重慶特電は汪精衞はなほハノイに滯在中だが汪派の有力者たる陳公博はすでに香港に到着したと傳へてゐる

六勅令案要綱可決さる

【東京國通】第五回國家總動員審議會は廿八日午前九時四十五分首相官邸に開會、廿四日の特別委員會で可決を見た

一、賃銀統制に關する勅令
一、工場に於ける就業時間制限に關する勅令
一、總動員物資の使用又は收用に關する勅令
一、會社の利益配當制限に關する勅令
一、工場事業場の使用又は收用に關する勅令
一、土地又は家屋其の他の工作物の管理使用又は收用に關する勅令

の六勅令案要綱を上程、渡邊特別委員長より委員會に於ける審議經過に就いて報告あり逐條審議の結果特別委員會決定通り原案を可決して十時二十分散會した、依つて政府は去る二十三日の第四回審議會に於て可決されたる總動員法第二十一條獸醫師職業能力申告、第二十四條總動員業務の計畫設定及び演練、同じく第二十五條試驗研究命令等に關する各勅令案要綱と共に明春早々の閣議に附議法制局に於て案文整理の上速かに公布施行する方針である

益田孝氏逝去

【東京國通】三井合名顧問益田農場株式會社々長益田孝氏は肺炎のため神奈川縣小田原町の自邸で療養中の處廿八日午前四時三十分逝去した享年九十二歲

人事往來

▲加賀田尚一氏(興銀)二十八日來京國都ホテル
▲石丸義武氏(大冶鑛業)同
▲宇山淸七氏(同)同
▲服部德郎氏(公吏)同
▲拓植貞次郎氏(滿炭)中央ホテル
▲松川五郎氏(滿洲移住協會)同
▲原幸平氏(東京火災)滿蒙ホテル
▲土谷俊一氏(會社員)同
▲鈴木巖氏(同)同
▲小松大一氏(福昌公司)大都ホテル
▲長友憲二氏(官吏)同

偶語

日露漁業問題は會談八回遂に明年に持越しとなつた▲ソ聯の肚は荏苒時日を遷延して漁期を逸しやうとする嫌がらせにあること明らかであるが▲漁業條約の目的は我が北洋漁業以外何物もない現に函館小樽では數萬の同胞が死活問題として現地の成行を注視せるばかりでなく殺氣漲る狀態であり▲今更暫定取極めなど手ぬるしと政府當局の斷乎たる對策を望んでゐるのである▲本問題に關しては政府に於ても確固たる方針を立て實力をもつても既得權益を擁護するだけの肚を極めて置かねばならぬ▲市民の同情金にて歲を越すもの六千數百餘名は王道國都の誇りではない▲歲末一回の同情金で一年をさゝへるものと思つてゐるお歷々の頭を疑はざるを得ぬ▲人間は一度三度掘替へねば命がなくなることを[illegible]じないらしい

社説

大陸經營の進行

事變はまさに長期建設戰の段階に入つた。戰爭と建設とこの一見相矛盾する如き要素の發展が當面の事態の基底となつたのである。事變當初の不擴大主義は蔣政權を相手にせずに變つたが、今や蔣政權が倒れても尚支同時正面作戰を堅持せざるを得ないやうになつてゐる。まして列國の援蔣と蔣政權自體が困窮に面し乍らも當分存續すべきことを豫想される以上、わが長期戰體制の內容は愈々深刻なものとなると言はなければならぬ。かくて建設の成果如何は戰爭に大なる影響を與へるであらうし、また逆に戰爭の進展如何は建設の上に直接間接の影響を與へるであらう。

この大陸建設のために今日までにどのやうな基礎工作が行はれて來たかを見るに、先づ臨時政府が出來たのが昨年の十二月であつた。新政府は三權分立、五部から成る陣容であつたが、本年九月改組が行はれ六部、二局制となつた。そして昨年十二月には北支海關の接收が行はれ、本年一月と六月には關稅率の改正が行はれた。日滿支ブロックのルートかくしてひらかれた。

一方本年三月には維新政府が成立を見た。蒙疆聯合委員會は昨年十一月成立した。これらの政權を統合する運動も進められつゝある。

經濟建設の歩みを見ると、本年三月には日支經濟協議會の設立を見、產業開發計畫も樹立された。これによつて石炭及び鐵鑛資源の開發、棉花增產、長蘆鹽開發及び交通通信施設の擴充等が實現されることになつたのである。さらに本年八月には日滿支ブロックの立場よりする農業政策の樹立のため、東京において東亞農林協議會が開かれた。また十月には日滿支貨物連絡運輸協定が結ばれ、日支定期航空、日支貨物の直通運輸等が行はれるに至つた。十一月には北支開發、中支振興の兩特殊會社が設立された。何れも大陸經營の先鋒となるべき大機關である。十一月には更に日滿支經濟懇談會が日本の各地及び新京において開催された。

これを概觀するに、大陸經營の礎石は大體において順當に打ち込まれたと言ふことが出來るであらう。たゞ何しろ廣大なる支那であり、複雜した事情の存する大陸である。詳細に見ればなほさらに檢討を要すべきものもあらうし、また既往以上に力を入れ急速に事業を進むべきものもあるであらう。尤も一面には戰爭を行ひながら、これだけの建設を行つて來たのである、それだけでも大いに偉とすべきではあらう。これは曾つてなかつた戰爭である、また曾つてなかつた建設なのである。顧みれば感慨も多く、さらに今後に向つての緊張も一層必要なわけである。

安東港の取締りに 滿洲國法令適用

=滿鮮兩當局で調印=

輸出入共に增加の一途を辿る安東港は從來新義州港と同一區域にあり本年五月一日滿洲國開港取締法の實施後も新義州側の朝鮮開港取締規則が安東港に適用され船舶業者海運業者滿洲國稅關に少なからぬ不便を與へてゐるので之が調整につき先般來滿鮮當局双方が意見を交換中のところこの程双方の意見一致し廿七日午後二時滿洲國側岡田安東稅關長、朝鮮側服部平安北道警察部長以下關係官參集、開港取締に關する協定に調印を終つた、よつて今後の安東港の港務取締は安東稅關において滿洲國側の法令に基いて行はれることゝなり、從來滿鮮間の國境にからまつてゐた各種の不便も完全に一掃されることゝなつた

資本金一千萬圓

東亞公益助成會社設立認可

【東京國通】北支における取引所設置問題に關し東株、東米、大株及び三品取引所の各代表はさきに北京、天津方面に出張中にて關係方面と折衝、去る七日北支當局に對し東亞公益助成會社の設立認可を申請中であつたが、去る廿一日附で正式認可があつた東亞公益助成會社は資本金一千萬圓(第一回拂込二百五十萬圓)支那有力家五名を加へた日華合辦の中國法人で本社を北京に設置するほか北京、天津、唐山の三個所に子會社を設立し、上場物件は先づ高粱、黑豆、小麥粉及び玉蜀黍の實物決算取引を行ひ、株式、棉花は追つて上場するが附帶事業として金融及び倉庫業をも兼營することになつてゐる、なほ業務開始は來年六月頃の豫定である

保險三社申請の 風水害保險に免許指令

【東京國通】東京海上火災、東京火災保險、三菱海上火災保險の三社では豫て商工省に風水害保險の免許を申請中であつたが商工省では廿七日免許指令を發した、その大要は各社とも保險約款をもつを原則とし颱風、暴風雨、洪水等の風災又は水災によつて生ずる損害を補塡するが、特約により風災、水災の何れか一方のみを引受けることも出來る保險に對する率の範圍は建物橋梁その他工作物、立木及び動產により差異がある、保險期間は原則として一ヶ年、保險料率は一ヶ年保險金額百圓につき二十錢乃至一圓六十錢特殊なものに對しては割增しをなす、風災又は水災の場合は多少の割引をなすことありこの保險料率は暫定的のものとし實績に鑑み檢討して適宜修正し漸次公正妥當な合理的な料率とされる筈である、なほ二十七日附を以て商工省では八會社に對し利益擔保火災保險の免許指令を發したが、これは從來火災保險の支拂は建物、動產等の直接損害を受けたものに限り間接の損害に對しては支拂規定がなかつたが今後は間接の損害に對しては特約を結びさへすれば支拂を受けられることになつた、この二つは我が國最初の試みで明年夏頃から開始される筈である

豪勇無双の鬼上等兵

重傷の身で三百の敵を走らす

杉山最高指揮官等も驚嘆

【北京廿八日發國通】足に數ケ所の重傷を受けた一上等兵が唯一人群がる敵の中に斬入り遂に三百の敵を

潰走

させたと云ふ阿修羅のやうな働きが廿八日軍司令部で開かれた○○會議の席上○○部隊長から詳しく語られ杉山最高指揮官以下並居る各部隊長を驚嘆せしめた、名譽の豪勇上等兵の名は佐藤信三郎(岩手縣岩手郡厨川村字赤母衣出身)で未だ廿五の青年、先頃杉山最高指揮官が徐州の○○病院を訪れた際この話を聞き「その上等兵は誰か」と聞いたところ重傷の身を省みず「佐藤は私であります」とむくくとベットから起上がり最高指揮官の前に出て來たと云ふ元氣ものだ、味方は一人、敵は三百、人間業とは思へない佐藤上等兵の活躍といふのは次の如くである

去る

十一月十七日の深更徐州東南方約二十里、わが北川部隊の守備する睢寧城に于學忠、孫連仲麾下約三百の敵が秘かに夜襲を仕掛けて來た、敵は南門前に立つ歩哨を避け東南角にある六角堂から城壁を登り暗夜を利して何時の間にか南城壁を占領してしまつた、氣がついた南門の歩哨は直ちに城內の伊吹隊に急を告げる、伊吹隊長は即刻衛兵隊長の佐藤上等兵に「直ちに南門を占領」との命令を下し部下二人と共に一齊に南門に向つて走り出した、敵は有利な城壁上から手榴彈と小銃彈の雨を浴せる、暗夜の靜寂は忽ち凄愴な修羅場となり上等兵は南門の直下で足許に破裂した手榴彈を受け右脚に數ケ所の重傷を負つてばつたり倒れたが兵二名はその儘南門の外に走り抜けた、豪毅な上等兵は「何を!」とばかり起き上り亂暴にもその儘城壁の上に攀上つて行つた、先づ眼に入つたのは小躍で

指揮

してゐた敵の指揮官を物ともいはせず後から銃劍の芋刺し驚いて誰何した傍らの敵兵は前から一刺し、あわてふためいてうしろから三人かゝつて來るのを先づ前からの銃劍を左手で受止め左右の敵を後ざまに銃の臺尻で殴り殺した、返す銃劍は眼の前の敵を之また一刺の下に斃した途端、うしろから組付いて來るのを見事背負投げ、その儘上の射擊壕の中に雪崩れ込み瞬く間に六人目の敵を刺してしまつた直ちに起き直つて何人でも來いとわめきつゝ血染の銃劍を揮つて敵中に躍り込み阿修羅のやうな銃劍に恐をなした近くの廿名が先づ浮足立つて逃げ始める、續いて城壁上の敵は全部混亂して飛降りる、結局夜襲の敵全部が南を指して潰走してしまつた、斯くて岩手健兒の燃ゆる意氣は遂に「三百倍の敵潰走」といふ奇蹟を完成したのである

フ軍總進擊續行

【サン・ジャン・ド・リウズ(フランス國境)廿六日發國通】フランコ軍は久しき沈默を破り去る廿三日以來カタロニア戰線において總攻擊を開始し陣地を死守する人民戰線軍との間に目下激戰を展開中である、フランコ軍は戰車、其の他機械化部隊及び空軍部隊等空陸相呼應し人民戰線軍の牙城バルセロナを目指して攻擊を續けてゐるが戰局は着々フランコ軍側に有利に展開してゐる

映畫法成案なる

【東京國通】內務省では既報の如く映畫事業を積極的に指導し保護助成を加へて適正なる發達を圖るため映畫法を制定することになり文部省と協議して過般來準備を急いでゐたがこの程成案なり愈よ今議會に提出することになつた、その要綱は左の如くである

一、映畫製作業及び映畫配給業の濫立を防止しその健全なる發達を圖るためこれを許可事業たらしむること

二、映畫事業の健全なる發達を圖るため許可を受ける映畫製作業者又は映畫配給業者にして法例又は許可條件に違反するなどの場合はその業務を停止し、制限し又は許可取消しを行ふこと

三、映畫の素質向上を圖り映畫の製作業務に從事する者の質的發展を期せんがため監督、俳優等の登錄制度を採ると共に不適當なる者に對し必要なる監督規定を設くること

四、本法施行の際現に映畫の製作又は配給の業を經營する者及び映畫の製作の業務に從事する者にして一定期間內に屆出をなしたる者はこれを本法により許可又は登錄せられたる者と看做すこと

五、優良なる映畫の製作を奬勵し日本映畫の質的發達を促さんがため國民文化の向上に寄與するものありと認めらるゝ優良なる映畫に對して表彰をなすこと

六、映畫を通じ國民敎化の目的を達する所謂文化映畫の指定上映を行ふこと

七、映畫を通じ啓發宣傳の目的を達するため特殊の映畫を指定し特定の映畫興行者に對しその上映を命ずるを得ること

八、公益上特に將來に於ても保存の必要ありと認むる映畫についてはその原畫の所有者に對し保存を命じ以てその散逸を防止すること

九、映畫檢閱の際に於る不測の損害を防止するとともに惡質なる映畫の出現を防止するため豫めその撮影開始前撮影臺本の屆出を命ずること

十、國內に於る多衆觀覽の用に供する外國映畫についても從來通り檢閱を行ふことゝし且つ檢閱に合格せざる部分はこれを沒收することを得ること

十一、公安、風俗、衞生、敎育その他公益上の必要に基き興行時間、映寫方法、年少者觀覽等映畫の上映に關し適當の制限をなすを得ること

十二、外國映畫の國民道義並にわが國映畫事業に及ぼす影響に鑑みその國內配給總數並に映畫興行上に於る上映數量につき制限をなすこと

十三、映畫の製作に關し危害豫防及び衞生上の見地より映畫の製作の現業に從事する女子及び年少者の深夜業の禁止その他制限をなすこと

十四、映畫製作業者、映畫配給業者は映畫興行者にして映畫の健全なる發達を害し國民文化の向上を妨ぐる惧れある場合には映畫の製作または配給の制限、設備の改善、不正競爭の防止等につき必要なる命令をなすことを得ること

十五、映畫に關する重要事項を調査審議せしむるため映畫委員會を置くこと

十六、右各號の違反に對する處罰規定監督上の必要に基く行政規定等を別に設くること

文官考試に受驗者の爲考慮

政府は新文官令施行後第一回の現職者に對する高等官(行政官及び技術官)特別適格ならびに登格考試を二月六日より十七日迄十二日間に亘つて夫々施行することゝなつたが新制度の趣旨未だ官吏の各層に徹底せぬ憾ある今日その考試の實施は各方面から注目の的となつてゐる、しかして政府の方針としてはあくまで受驗者の立場を尊重しその從事する職務の性質、勤務の繁閑等を充分考慮し苟も學術偏重なる非難を受くる事なき樣愼重な態度を以てこれに臨む筈で技術官の適格、登格考試には勤務成績、執務能力、語學、人物の考査のみを行ひ學科試驗なく行政官の登格考試のみ學科試驗を行ふが、右學科試驗は必須科目たる基本法ならびに選擇科目中より豫め問題若干を示しそのうち何れかを出題するの方法による筈でこの點にも現職者の負擔輕減を圖つてゐる、語學試驗は現職者の素養の實情を考慮し一定程度の素養を求めその標準を大體滿鐵の行つてゐる語學檢定試驗の三等よりやゝ低位とする豫定である、なほ司法官に對する考試は康德六年七月以降において別に施行せらるゝことゝなつてゐる

外務省辭令

【東京國通】外務省辭令(廿七日)

外務事務官 松平康東

任外務書記官 命條約局第二課長 領事 太田一郎

任大使館二等書記官兼領事 命北京在勤 外務事務官 瀧川欽哉

任外務書記官 命東亞局第三課長 公使館二等書記官 塚本毅

任公使館一等書記官 命瑞西國在勤 公使館二等書記官 木內良胤

任公使館一等書記官 命チエコスロヴアキヤ在勤 大使館三等書記官 法華津孝太

任大使館二等書記官 命獨逸國在勤

國防皇軍慰恤獻金品(本社取扱)

一、金二萬七千九百九十七圓九十七錢(關東軍司令部へ)
一、慰問袋千三百五十個(同)
一、金七十四圓三十五錢軍用家畜慰問金(同)
一、金三百圓也(國防館基金へ)
一、金五千三百五十三圓三十四錢(駐滿海軍部へ)
累計三万三千七百二十五圓六十六錢
……十二月廿七日迄の分……

讀者の領分

投書歡迎 僞名不可

官僚獨善を一掃せよ!!!

（正義生）

一、建國當時に比べて近頃滿洲國の役所が甚だしく官僚的になり、其れに見習つて特殊會社までも役人風を吹かさんばかりの勢で、滿人を始め日本人でも心ある者は「困つたものだ」と歎いて居る、政府と人民との間に立つて官民遠情をやる重大使命を持つ協和會の事務員までが官吏顏をしたがる實に困つた事態であり憂慮すべきことである。

二、日本の役所（大藏、商工外務、內務等）から色々な人物がはいつて來て大馬力で働いて吳れるのはよいが獨時代の「官僚獨善」の思想はやめて貰ひ度い。「自分達だけが官吏だ、仕事をして居るのだ、エライのであつて他の者は皆田舍者で馬鹿ばかりである」と言つた樣な顏をして橫行して居る。

三、今回世間で非難の的となつた文官令を始め、凡そ三千萬民衆の利益や幸福と緣遠い種々雜多な法令なども官僚獨善の思想が生んだものが多い。某高官などは「君法律を作るのは面白いもんだよ」と平氣で放言したとのことだが、議會もなく言論は統制されて居る所では成程そうだらう、民情や風習などはおかまいなしで日本の古い法律をやき直してそれで仕事をした樣な顏をする。其う云ふ人間が科長、局長でイバツて居る、位が上り俸給が增へる。

四、官僚の悪いくせの一つは努めて責任回避をすることである、例は山程ある。「よい事は皆自分達がしたのだ、悪いことは皆部下や他の馬鹿者共がやつたのだ」と言ふ。然しよく考へて貰ひ度い——眞面目に、滿洲國の爲に日本の爲に、滿人や蒙古人だつて馬鹿ばかりは居ない。我々日本人にも正義の血がある筈だ、東亞新秩序建設と云ふ大きな使命を忘れるな、官僚獨善は直にすてゝ貰ひたい。

鑛發會社改組擴充 改正法公布さる

＝產業部當局談發表＝

滿洲鑛業開發株式會社の擴充改組に就いては既報の如くであるが右につき產業部では二十七日大要左の如き當局談を發表した

□

政府は國內重要資源の急速なる開發の必要を認めこれが計畫的開發を圖るため曩に滿洲鑛業開發株式會社の改組要綱を決定し二十一日の參議府の諮詢を經て二十三日同會社改正法公布を見たので廿五日同會社臨時株主總會に於て定款の變更役員の增加を決定し茲に積極的開發に乘出さしめることゝなつたが本會社の改組の目標とするところは左の如くである

一、鑛產資源調查機構の整備 鑛產資源の調查は鑛業開發上の基礎條件なるに鑑み計畫的科學的調查機關を本會社に統合せしめた 即ち本會社の計畫によれば各方面より多數の人材を蒐め一般調查班と特殊班とを組織し最少限度十ケ年間に全國的調查を行はんとするもので、これには多額の費用を要するので政府より每年補助金の交付を待ち調查機構の完備を期することゝなつた 而して本會社の調查は國家的事業として一般人の介入を許さざるかの如き感あるも事實はこれに反し一般鑛業經營者、鑛業出願人、申出人の意見を考慮せんとするもので斷じて一般人の調查を拒否せんとするものではない

二、鑛業金融機構の擴充 鑛業開發には多額の資金を必要とするも從來これ等の機關存在せず、ために中小鑛業經營者は多大の不便を感じつゝあつたが、今回本會社改組に伴ひ積極的に投資、融資、金融等の保償を行はしめたこれ等業者を保護助成することゝなつた なほ鑛業開發上必要なる精鍊については營利を目的とせざる本會社において經營する方が一般鑛業者の利便と考へ國立金鑛精鍊廠を本會社の經營に移した

三、鑛業開發の基礎條件たる鑛業權、租鑛權の設定の迅速化、簡易化について鑛業出願審查機構の整備改善を企圖し鑛業法の改正につき目下鋭意研究中にして明春早々實現する豫定である

十一月中の 總局特產檢查成績

鐵道總局混保檢查所調查による十一月中の混保大豆、大豆粕、大豆油、製油原料の檢查成績は左の如くである

△混保大豆

一、檢查成績 檢查合格率は九五・三%で、前月に比し一・七%の低劣を示し前年同期に比すれば〇・八%の好率となつてゐるが、右成績を年度別に比較すれば左の如し

月別	合格	不合格
本月	九五・三	四・七
前月	九七・〇	三・〇
前年本月	九四・五	五・五
前々年本月	九三・九	六・一
前三ケ年平均	九三・二	六・八

一、出廻數量 本年度產本月末現在出廻總數混保品一萬三千九十七口につき管內別に比較すれば哈爾濱支所が四千六百九十八口（三五・九%）で第一位を占め第二位が奉天支所の三千八百五十九口（二九・五%）つゞいで吉林、齊々哈爾、牡丹江、錦州各支所の順序となつてゐる

一、品質概況 本年度產出廻品の品質は全般的に前月と大差なく南滿地方出廻品は前年に比し損傷粒不實粒多く泰吉平梅線出廻品は病斑粒の混入目立ち且つ色澤不良のため前年に比し品質劣りその他各線の出廻品は一般的に前年と大差なく濱北寧濱綏線出廻品に粒形稍大で粒質良好のものを見る

一、國營檢查數と混保檢查數との比較 本月中の國營檢查總數一萬三千二百六十五口、內合格數一萬二千二百十八口に比して混保檢查總數一萬一千五百九十一口、內合格數一萬一千五百七十口で混保の占める割合は總數で八七・四%、合格數では九〇・三%となつてゐる

△大豆粕 十一月中の檢查總數は一千九百七十五口、內合格數一千九百四十五口で前月に比し總數では一千二百五口、合格數では一千一百九十三口と何れも異常な激增振りを示し又前年同期に比しても總數において五十六口の增加である なほ本年度本期の國營檢查總數二千三百三口、內合格數二千二百十三口に對し混保檢查の占める割合は總數で八五・八%、合格數では八七・九%である

△大豆油 十一月中の混保豆油の檢查數量は百二十六口で前月の八十二口に比し四十四口の增加であるが年度別に比較すれば

月別	合格	不合格	合計
本月	一二六		一二六
前月	八二		八二
前年本月	三九九	六	[illegible]
前々年本月	一四四	二七	一七〇
前二ケ年本月平均	二八	四〇	一六八

なほ國營檢查數對混保檢查數の比較は左の如し

	合格	不合格	合計
國營	一七八	一二一	九一
混保	一二八	一	一二六

（國營に比し混保寄託の多いのは認定及び再檢查により混保寄託としたものがあつたことに因る）

△製油原料 製油原料の本月檢查成績を示せば左の通り

	本月	前月
小麻子	六六	一
大麻子	三九五	一八七
蘇子	[illegible]	[illegible]
胡麻	一〇〇	[illegible]
棉實	一	一一
合計	一、〇八一	[illegible]

洋灰公定價格 明春早々決定

滿洲共同セメント株式會社常務取締役河村氏は目下全滿セメント需要量の不足分の輸入交渉のため內地に出張中であるが來春早々同氏の歸滿を待つて愈々懸案のセメント公定價格の發表を見る筈である

……は既報の如く豐島愛明氏が常務取締役に、陳紹□、石倉己吉兩氏が取締役に、苑鳴玉氏が監査役にそれぞれ選任された

東拓總裁留任

【東京國通】安川東拓總裁の任期は二十八日をもつて滿了するが二十七日の閣議の席上同總裁の留任を承認二十八日これが發令をみることゝなつた

日鐵人事異動

【東京國通】日鐵では廿七日左の異動を發表した

輪西製鐵所庶務部長 理事 湯川竹三 任中支（上海）出張所長

輪西製鐵所長兼臨時建設局輪西支部長 理事 北村保太郎 任輪西製鐵所庶務部長事務取扱

北滿穀物在荷

北滿經調調查—十二月中旬末現在北滿各鐵道沿線主要地穀物在荷は左の通りである（單位瓲）

品目	在荷
大豆	三四九、三一二
小麥	一九四、二二三
豆粕	一三、九一九
豆油	九、七七八
麥粉	五六、七七六
高粱	[illegible]
粟	[illegible]
玉蜀黍	[illegible]
蘇子	[illegible]
小麻子	[illegible]
其他雜穀	[illegible]
合計	六九九、七七八

にして前旬末に比べ大豆の九二、七四一瓲を筆頭に各品種共何れも軒並增加を示し結局合計に於て一八四、九六一瓲の增加となり周境良による出廻好調を映じてゐる、この中大豆及び小麥の各線別在荷を示せば左の通り（單位瓲）

線別	大豆	小麥
水濱管區	[illegible]	[illegible]
濱北線	[illegible]	[illegible]
松花江筋	[illegible]	[illegible]
京濱線	[illegible]	[illegible]
拉濱線	[illegible]	[illegible]
濱綏線	[illegible]	[illegible]
虎林線	[illegible]	[illegible]
圖佳線	[illegible]	[illegible]
濱洲線	[illegible]	[illegible]
齊北線	[illegible]	[illegible]
寧墨線	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]
前旬末	[illegible]	[illegible]
前年同期	[illegible]	[illegible]

滿洲重工業定時株主總會

【東京國通】滿洲重工業では廿七日午前十時日產館に定時株主總會を開き左記當期利益金處分案（甲種株主配當年五分、乙種株主配當年一割尖々据置）を附議承認した（單位千圓）

當期純益金一七、八八三、前期繰越金二、七五二、合計二〇、六三五（この處分）法定積立金八九四、甲種株主配當金四、九五九、乙種株主配當金九、九一八、役員賞與金一二五、後期繰越金四、七三八

大上海瓦斯創立總會

【上海廿七日發國通】大上海瓦斯株式會社創立總會は廿七日午後一時から上海アスターハムス廣間において開かれ王實業部長等の祝辭あり、役員として

商況 二十八日 後場

●大連株式（短期） 寄付 大引

五品、東新、滿取、同新、鐘紡、滿鐵、大新、豆新、土木 休會

●奉天株式（短期） 寄付 大引

滿取、東新、大新、滿業、同新、日監、五品、滿鐵、同新、鐘紡、電甲、電乙 休會

新京取引市況

先物 大豆 寄引 出來

十二月限 [illegible]

一月限 [illegible]

手形交換高（二十八日） [illegible]

地籍整理完了區域 不動產登錄（上）

司法部民事司長 菅原達郎

從來わが國においては不動產登記法といふ法律があり、不動產即ち土地及び建築物の登記を行つてゐたのであるが昨年更に不動產登錄法といふ法律を制定して、地籍整理完了區域においてはこの法律によつて不動產の登錄を行ふことにした、不動產登記も不動產登錄もその目的は同一であつて、要するに取引の安全の爲に不動產の存在とこれに關する權利關係とを公の帳簿に記載して置き、一般の人々に自由に之を知らしめる制度である、然らば同一目的を有する制度であるに拘らず何故に二つの法律を作り且つ行ふのであるかと云ふ疑問が起るが簡單に之を說明する、登記も登錄も不動產の存在と權利關係を公示する制度であつて、登記簿に記載する事項も又登錄簿に記載する事項も略同一である、即ち土地に就いては地籍—謂ひかへれば土地の所在、地番、地目、面積、又建築物に就いては房籍—謂ひかへれば建築物の敷地の所在、地番と建築物の種類、構造、面積、番號を記載し尚これらの土地建築物が何人の所有であるか、これに對して何人が如何なる權利を有つてゐるかと云ふ事を記載して置くのである、然し登記と登錄とは其の效力の上に重大な差異がある

□

第一には、登記は不動產物權得喪變更の對抗要件であるが登錄は其の效力發生要件であるといふことである

例を擧げて說明すると、甲が土地を所有してゐて、其れが甲の所有なりとして登記されてゐるとする、この最初に行はるゝ所有權の登記を保存登記と謂ふが、甲がこれを乙に賣却した場合には所有權移轉の登記をし、又甲がこれを擔保にして乙から金を借りた場合には抵押權の設定登記をするのが普通である、然しかゝる登記をしなかつたとしても契約さへすれば其の賣買、抵押權の設定は有效であつて乙は所有權を取得し抵押權を取得する、然らば登記はある不動產に就いて何人が如何なる權利を有するかといふ事を公示して、紛爭の起つた場合權利の證明になるに過ぎないかと謂ふと勿論有力な證據になるのであるがこの外に更に大なる效力がある、即ち乙が甲から土地を買受け登記をしなかつた場合、甲と乙との二人だけの關係に於ては其の土地が乙の所有になつたと謂ひ得るのであるが、若し甲が其の土地を更に丙に賣渡して其の登記をした場合には、丙は其の土地は自分の所有であつて乙の所有でないと主張出來る即ち乙の所有權を否認し得るのである、勿論この場合二重賣買をした甲は刑事上又は民事上の責任を負ふことがあるが、兎に角乙は思ひがけない損害を蒙ることを覺悟せねばならない、此やうな問題は單に不動產の賣買ばかりではなく、抵押權や地上權或は耕種權の設定等所謂物權の得喪變更のあらゆる場合に起り得るのであつて、實際の訴訟事件としても極めて多數に上つてゐる

即ち契約に因つて所有權や抵押權を取得しても登記をしておかなければ第三者から何時否認されるかわからないが、登記をして置けば何時でも第三者に對して自分が權利者であると堂々と主張し得るのである、然しこの對抗要件主義は果して妥當であるかどうかは問題となつてゐるところである、不動產は人民の財產として最も重要なものであるが、其の權利關係が不安定であり不明確であることは屢々紛爭の原因となるのである、故に不動產の賣買或は抵押權の設定等所謂物權の得喪變更は單に當事者の契約のみでは效力を生じない、登記をすることに因り初めて效力が生ずるとするのが取引の安全を保護する所以である

不動產登錄はこの主義に則つて物權の變動は登錄することに因つて效力を生ずるとしてゐるのである

□

第二には、登記は登記簿に記載された權利關係について推測力を有するのみであるが登錄は公信力をも有するといふことである、先づ登記に就ていへば或る土地が甲の所有として登記されてゐる場合には、一應甲が所有者であるといふ推定を受け、例へば訴訟に於て爭のあつたときは其の登記簿の記載が有力な證據となるのである、ところが丙といふものがその土地は實際は自分の所有であつて甲の所有でないと主張して明確な證據をあげた場合には結局丙の所有であるとさるゝ、故に乙が甲からその土地を買受けて登記した、又は甲に對する債權の擔保として抵押權を設定させ其の登記をした場合でも、其の土地は甲の所有ではなく實は丙の所有であると云ふことが明らかになれば甲は元來その不動產を處分する權利がないのであるから、結局乙は所有權或は抵押權を取得しないといふことになり、思ひがけない損害を蒙ることがある俗にこれを幽靈賣買などゝ申してゐるが、かゝる訴訟事件は相當多數に上つてゐる、即ち登記簿に記載されてゐることは一應眞實であると推定されるのであるが、國家はその眞實を保證しない、これを法律用語で述べると登記には推測力はあるが公信力がないと云ふのである

然し國家の機關が行ふ登記に付て國家がその眞實を保證しないと云ふことは、理論上不可能であるのみならず、實際の不動產取引を不安定にする懼があるので、不動產登錄では登錄簿に記載されてゐる權利關係に付ては、國家がその眞實を保證する

□

換言すれば登錄は單に推測力を有するだけではなく、公信力を有するといふことにしたのである、例を擧げて說明すれば、甲が或る土地を所有して其の登錄をして置いた、ところが登錄簿上甲は其の土地を乙に賣渡したものとして所有權移轉の登錄がされてゐる丙は其の登錄簿を見て其の土地が乙の所有であると信じて乙からこれを買受けて其の登錄をした、ところが後になつて實は乙が其の土地を買受けたのではなく、賣買契約書を僞造して登錄をしたのであることが判明したと假定する、この場合に若しこれが登記であつたとすればさきに述べたやうに丙は其の土地の所有權を取得しないのであるが、登錄の場合においては丙が善意で過失のない限り其の土地は乙の所有であると看做され、從つて乙と丙との間の賣買は有效となるのである

しかし一方において眞實の所有者である甲は所有權を喪ひ損害を蒙るから國家は甲に對し其の損害の補償をすることになつてゐる、これは不動產の賣買の場合のみではなく抵押權や地上權或は耕種權の設定等すべて物權の得喪變更の場合においても同樣である

學藝

小說　Y先生の革命(三)

建南作　大內隆雄譯

清蕪委員がこつそりY縣に來た時、彼はまつさきにその人物を探り出した。そこで彼はその人間を手厚く自分の家でもてなした、直ちに委員は彼を見破つた、彼に本縣のCP分子檢擧に働いて貰はうと言つた。彼は得意滿面で、自分が忽ち偉大な人物になつてしまつたやうに思ひ、誰もが自分の掌中に在るのだと思ひ込んだ。そこで彼は大きな名簿表をつくり、多くの人間の名前を並べた、陣たち七人の名前をまつさきに。そしてそれを恭々しくその委員に差し出した。やがて名をあげられた連中はみな逃走した。最高の縣黨部に數人の門番だけが殘つた、そこでY先生は數人の兵を連れて一應搜査をやつた、その結果何も得るところは無かつた。たゞY先生は久しく渴望してゐた縣常務といふ肩書を得たのだつた。そして教會の仲間から澤山の同志を引つ張つて來た。

——これでこそ革命なんだ!

Y先生のこの時の得意さには比ぶべき何ものもなかつた。そこへボーイが駈け込んで來た。

——Yさん、省の委員が來ました。

選擧の時に彼に金を貸してくれたジョンソンの外では、省の委員だけが彼の尊敬してゐる人物だつた。省の委員は泰然と應接間に新しくつくつた坑の床に横になつた、Y先生は滿面に笑ひを浮べて手を拱ねて傍に立つた。

——あの人達がやつてゐた事には私は以前から不滿でした あれでは全く總理の主義に背くものです。どんな事でもあいづらの小團體內で秘密に決議して誰も反對出來ないやうにするのです、甚だ恥づかしいことですが私にはそれを摘發する力がありませんでした

さう言ひながら彼は甚だ義憤を感じてゐるといふ表情をした、それから急に、自分は禮儀を忘れてゐたのに氣付き、慌てて走り出して行つて大きな葉巻を持つて來、兩手で省委員の口もとに持つて行き火をつけてやつた。省委員は手を伸して髭をねぢり乍らゆつくりと話し出した。話はうまく運んだ。ボーイが料理屋から料理を運んで來たことを告げると、やつと立ち上りそれから常務室に行つて對酌密談した。

委員が午睡するやY先生はやつと脚を伸ばし、身輕に部屋を出て家に歸つて來た。

——ほう、口をてかてか光らして何か食べて來て、何で又家に歸つて來たの?

Y太太は彼が這入つて來たのを見るや早速口ぎたなくやり出した、Y先生は笑つてその肩をたたいた、そしてその黄色い痩せた頰に接吻した、もう一つの手でポケットから札を取り出し太太の懷に突き込んだ、そして太太の笑ひ顔を眺めた。

——何處からなのこんなに澤山?

それに構はずY先生は更に接吻し、それから言つた。

——うゝん、何ぢや、今は昔とは違ふんぢや、もう俺も偉いんだぞ、これからはお前にも苦勞はかけん、常務の太太だ!

——それぢやジョンソンさんの三百圓は返して田舍のお婆さんにも送つて上げなくちや

——ジョンソン?あの外國人は金があつても使ふとこがないよ、あの人が自分で貸してくれたんだ、返さんでいいのさ、お婆さんは、餓死なんてしはせん、さあ街へ行つてちつと服でも買つて來い、これぢや太太といふ恰好ぢやないぞ

太太は忽ち喜び、手を伸して札を取りそれから身仕度をした。Y先生はそれに言つた

——俺はジョンソンの所に行つて來る、お前待つとれ。

彼はジョンソンの所に走つて行き、公金を共產黨に持ち逃げされた、當分金は返せんと言つた。ジョンソンは構はないよと言つて彼の肩をたたいた。

——Y君、君も偉くなつた!

Y先生は眼を細くして笑つた(了)

新喜劇?と教化劇?
——大同劇團鮮語公演——

新井翠苔

歸滿後、第一回目の新京公演が、鮮語部とは餘りに力が弱すぎる。一ト月や、二タ月後でも宜いから、オール大同劇團の公演が見せて頂きたかつた。

大體、私は、鮮語公演の意義に就て、若干の疑問を持つてゐる、それは、別の機會で云ふつもりでゐる。

第一が新喜劇「蒼穹」である。作者は藤川研一氏、演出は森絨氏ださうである。

宣傳文に據れば「新喜劇樹立を目標とせる野心的な試み」ださうである。

しかしこの芝居、新喜劇と云ひ得るだらうか?

「健康な市民性・良識・諷刺・白嘲・リ、シズム・文學性・輕快性・ギヤグ・リアリズム」等々の諸要素を含んだ「今日性」のある輕演劇を「新喜劇」だと信じてゐる私には、「蒼穹」から何等新喜劇的なものを見出し得なかつた。

第一場がアパート、第二場がカフエー、第三場が元のアパートといふ場割であるが、この御時勢に何の必要があつて、カフエーの芝居などやるのか!何の必然性が、あのカフエーの場にあるのか!たゞ筋の運びの爲の證明場面でしかないではないか!

若いサラリーマン夫婦を描いた芝居だけに、一見「今日性」がありさうでゐて、事實は少しも「今日性」に徹して居らぬ。

「野心的」なものゝ片鱗さへ見えないのである大同劇團の新喜劇!出直すべしである

第二は飜案物「暴風雨」藤川研一飜案脚色である。

この芝居の原作は、內地の演劇に色々に形を變へて取入れられてゐる。この原作からヒントを得て戲曲を作つた人に、小山內薫、菊池寛、吉井勇、岡本綺堂の諸氏がある。

それ等の人々の作品では、スッカリ原作が消化されてしまつてゐるが、藤川研一氏のこれは飜案臭が多分にある。

さて藤川氏の演出だが、役々の發聲がメチヤクチヤで雰圍氣が盛り上つて來ない。セリフの强弱高低が全く無統制である。それから、半島の人の芝居は、ともすると「動き」の過剩に陥りやすい缺點がある。新喜劇などの場合なら、それを利用して面白いものが出來るのであるが、この芝居の場合など演出者たるもの、モッと締めてかゝるべきだ。

再び宣傳文を引合に出すがこの芝居「教化劇」ださうであるが、どこにそんな教化的な內容があるのか?

「都會に憬れるのはいけない事だ。」などゝこの芝居を見て思ふ人が、一人だつてあるだらうか!

それから、「効果」である、大同劇團に、「効果係」がゐないのだらうか?第一の芝居の幕あき直前、藤川氏が滿鐵倶樂部の廊下を走り乍ら「事務所の人はどこにゐるんだらう。電氣蓄音器がなくて幕が開かないんだ。」と叫んでゐた。一人の効果係さへゐたら効果に必要な道具は、開幕何時間前かに揃つてゐる筈だ。

この芝居、題名の示す通り暴風雨の芝居である。强い雨の音、强い風の音を必要とする芝居だ。遺憾乍ら雨音、風音、失敗であつた。

二つの芝居を見て感じた所をあけすけに云へば、「大同劇團よ、もつとしつかりしてくれ!頼むから。」であつた

大同劇團は火急に、劇團組織の再檢討を行はなくてはならぬ。(十二月十七日見物)

俚謠について

北原白萩

才人の才は到る處に發揮されてゐる。低徊趣味の唱導も結構、萬葉張りに慊らない者は江戸情調の復活に努力するのも惡くはない。デカタン派、高踏派、雜然として起るその中から、私たちは絶唱の一つ二つを得ればよいのだ。

八面玲瓏の俚謠美は高所から俯瞰しても低所から仰望しても將に無碍の玉晶體でなければならない。ともすれば千人萬人の謠ふたものが、皆絶唱なんて事は願ふものが無理なのだ。今に殘る古民謠が磨せず泯せず琅々錚々の聲を發すると言ふ事は畢竟泯滅されたもの、數多い證據なんだ。

型がどうだとか正調がどうだとか舍して下さいと云ひたくなる。大衆支持の翕然たる浪に乘つて、本流支流苟にも俚謠の一體を具へる物は競つて一草一石を寄與すべきである、名もなき草の枯れた中にしほらしい一莖の花が殘るものぞと、私は私の信念に今も精進してゐることだ。然し理窟で俚謠は生れて來ない。研究。推敲。この方面が第一肝要なのであるが、研究となると博引傍搜の手間仕事、興が乘らばやる氣にもなれないしさりとて黴の生えた追憶談に古顔めかすも氣障だと云はれゝればそれ迄、もひとつ同人の創作批評も當り障りの謠氣分を壞すので考へ付いたのが俚謠余技、かつてフローレンツの和歌英譯、土岐哀果君の漢詩和歌對譯など讀んだ事など思ひ出して私も聊か漢詩の俚謠譯をやつて見る。畢竟詠む事と作る事純正の態度に併ふ流審と技巧を離れては俚謠の完成もない譯だ。俚謠誌以外に讀み且つ味はつて皮となり骨となるべきものは攝取不捨つとめて應用考試すべきである

バタゲキ欄　短評小感

本年最後のこの欄の執筆である。かへりみれば此の一年も、微力乍らではあるが出來るだけ努力はして來た。相當惡舌毒舌をふるつたので被害もあつたらう。この際勝手乍ら、潔く年とともに一切を水に流していただくことにしよう。

元來この欄では具體的な作品を一々取り上げることに主眼を置いて來た。それはよし批評が間違つてゐやうとも、讀者をその作品につなぐだけの役目はなし得やうと思つたからである。

內地からの雜誌が大へん遅れてしか手許にはいらないことは甚だ不便であつた。もう批評の出てゐる內地新聞が來てゐるのに、こちらではまだその作品を讀めないといふ事が屢々あつた。斯うした狀態が改善されることを望んで置きたい。

文化の方面でも大陸へのつながりは愈よ强化されようとしてゐる。寸餘の小欄とは言へこの欄の持つ役目は依然として存しよう。筆を洗ひ更に一層勉强してまた讀者諸賢に見えんことを期する次第である。小感を誌して年を送る辭とする。(御垣衛士)

書架

本欄紹介希望の新刊書は本社編輯局宛一部御送付相成度し(係)

△モダン滿洲(十二月號)宍戸貫一郎「討伐隊」長谷川「人生胡同」日高昇「故古城少將を憶ふ」諸家「本年の回顧」「ネオン街評判記」等を盛り大衆雜誌として漸く整つた內容を見せて來た(新京祝町二ノ四、モダン滿洲社、四十錢)

△朝鮮殖產銀行二十年志 創立二十周年を記念に刊行された大冊、朝鮮の財政經濟史について貴重な資料を提供してゐる(京城府南大門通二ノ一四〇、朝鮮殖產銀行)

△滿洲評論(十二月十七日號)木好「日滿支經濟懇談會の意義とその將來」小山「康德五年度滿洲國の建設業績」柳澤博一「國家的投資政策の本質とその限界」杉田重三「イタリー經濟論」等(大連市大廣場東拓ビル、滿洲評論社、十錢)

△大陸科學院彙報(第三號)志方益三「滿洲國產タンニン原料に關する研究」編渡七郎「日滿パルプ資源並に纖維資源」籌下征「石炭より如何にして液體燃料を得るか」小笠隆夫「小麥資源の研究」その他の研究を盛る(新京大同大街、國務院大陸科學院)

ラヂオ　けふの番組
「M・T・C・Y 新京放送局」廿九日木曜日

朝
七、五〇(大連)ラヂオ體操。入港船のお知らせ
八、一〇ニュース
八、〇〇(大連)朝の音樂
八、四〇(大連)管絃樂
一、歌劇「ボルティチの啞娘」序曲
二、オルフエオ舞踊組曲
九、〇〇 氣象通報
九、〇五(東京)經濟市況
九、三〇(東京)經濟市況
一〇、四〇(大。新)經濟市況
一一、三五(大連)經濟市況

晝
一一、四〇(東京)經濟市況
一一、五九(東京)時報
一、〇〇(奉天)野談「野の演藝」漫談「生物語」尹白南
引續き講談社提供キングレコード漫畫劇 チビリン突貫兵 長谷川鐵菊音樂會員
一、三〇(東・新)ニュース
二、〇〇(大・新)經濟市況
三、二〇(東京)經濟市況
四、〇〇(東京)ニュース
五、〇〇 氣象通報・ニュース
五、二〇(奉天)ニュース「鮮語」
(奉天)童話「鮮語」

夜
六、〇〇(大阪)子供の時間 童話劇 思ひ出の歌時計 大阪放送童話劇研究會
六、二〇(東京)コドモ氵新聞 村岡花子
六、二五 合唱 國務院總務廳合唱團 ピアノ伴奏 山田不二子
一、女聲二部合唱 森の歌 キユッケン作曲 葛原しげる作歌
二、女聲二部合唱 秋の夜
三、齊唱 野行き山行き 九條武子作歌 瀨戸口藤吉作曲
四、女聲二部合唱 花 武島又次郎作歌 瀧廉太郎作曲
五、女聲三部合唱 空しく老いぬ ユングスト作曲 高野辰之作歌
六、齊唱 思ひ出 近藤義次作歌
七、齊唱 朝 井上武士作曲
島崎藤村作詞 小田進吾作曲
七、〇〇(東京)ニュース 今晩の番組 ニュース・告知事項・
七、三〇(東京)國民歌謠 合唱 アンサンブル・シエーン 伴奏 東京放送管絃樂團 指揮 池讓
一、みのり
二、航空唱歌
三、グライダー日本
七、四〇(東京)講演『未定』
八、〇〇(東京)管絃樂 日本放送交響樂團 指揮 アウグスト・メンケル
一、喜歌劇「ウインザの陽氣な女房たち」序曲 ニコライ作曲
二、圓舞曲 南國の薔薇 ヨハン・シュトラウス作曲
三、歌劇「アイーダ」凱旋行進曲 ヴェルディ作曲
八、三〇(大連)箏曲と三曲 縛永正子社中
一、箏曲 御國の譽れ
二、三曲 越後獅子
九、〇〇(東京)連續ラヂオ小說「第三夜」アルプス大將 濱帆一原作 菊田一夫脚色 解說 古川綠波一座 和田信賢 伴奏 東京放送管絃樂團 作曲並指揮 伊藤宣二
九、三九(東京)時報・ニュース・ニュース解說 氣象通報・ニュース・告知事項・明日の番組
一〇、三〇 ニュース再放送
一〇、四〇(哈爾濱)北滿の時間
アナウンサー荒井(朝)池谷、渡邊(晝)田中、十森(夜)

昭和の常識

物を訊く子供に二型あり、質問に執着する子は将来頼母しいが、聞き放しの子は[illegible]注意を要す

冬の満洲・保健十則

一
室内の空氣は極めて不潔ですから寒さを恐れずに戸外に出て下さい

尙、その前に、仁丹數粒をお含みになると特別爽快な氣分を味わふことが出來ます

二
室内に出來るだけ新鮮な空氣を入れ換氣に注意して下さい

一、窓に目張りをせぬこと
二、時々窓をあけること
三、掃除は窓をあけて茶殼を撒いて掃き出すこと
四、炊事場には換氣管を利用のこと

もし、胸の氣持の悪い時は、直ぐ仁丹をおのみなさい、さつぱりとした快適の氣分が得られます

三
部屋の過熱は身体を弱くして風邪のもと

晝間は攝氏一六―一八度、夜間は攝氏一〇度―一三度が健康に最もよろしい

風邪は萬病の基、決して油斷出來ません。仁丹を御常用になると榮養を充分にしますから風邪にかかる心配がありません

四
炭火や煉炭からは恐ろしい毒瓦斯を出しますから火鉢は成る可く用ひないこと

空氣の乾燥が劇しいと、第一に咽喉を害ねます、そんな場合、すぐに仁丹をおのみになると口中が潤ひますから其の心配はありません

五
ペーチカの焚き方は加減板を注意し、毒瓦斯を部屋に漏らさぬこと

萬一、頭痛が劇しい場合は、仁丹十數粒をお含みになり新鮮な空氣を呼吸して下さい、速みやかに消退してしまひます

六
冬の女子の服裝は防寒的に工夫して下さい

同時に又、常に血の循環をよくして、肌を健康色にする貴藥サフランを含有する仁丹の御常用は特に御婦人の爲めにお薦めいたします

七
子供は薄着本位で氣温に應じて調節すること

厚着は風邪のもと、常に薄着して、元氣と榮養を與へる仁丹をのんで居れば病氣に罹る心配がないお子達の頃からこの習慣は、必らず立派な健康体をつくるもとゝなります

八
喰べ物は榮養本位にしてその土地の產物を利用すること

早い話が、榮養が不足すると忽ち風邪をひきますホルモン、ビタミン、サフラン、朝鮮人蔘等の榮養を含む仁丹はこれから特に御常用が肝要です

九
冬の喰べ物は、野菜と脂肪を攝ることを、忘れてはなりません

しかし、脂肪分は一体に消化が不良です、だから消化の促進に食前食後仁丹は是非おのみ下さい

十
野菜類は、よく消毒して悪疫を豫防すること

更に又、悪疫豫防の爲めには、仁丹で口腔を衛生し、胃腸の强化を計ることが萬全の手段です

今 誰もが一つは必らず持たねばならぬ 容器進呈

仁丹の防共容器

健全な愛國精神をつくるにはまづ赤化思想を徹底的に防遏しなければならぬ
そのためには、この防共容器を日常携帶して、片時も防共觀念を忽せにせぬことが刻下の急務です

銀粒仁丹五十錢に添附進呈

仁丹の体育容器

益々强い國民となるには、まづ体育向上に心掛けねばなりません
その体育精神を常に想起させるのが、この体育容器です

銀粒仁丹五十錢に添附進呈

仁丹の活用

悪疫流行ノ時
氣分悪シキ時
口中悪臭ノ時
音聲ヲ使フ時
執務勉强ノ時
疲勞倦怠ノ時
船車旅行ノ時
運動散歩ノ時
集合觀劇ノ時
宴會喫煙ノ時
食前食後
訪問接客ノ時

銀粒仁丹

仁丹

御用納めはじめたが 肝心なあと三日
十三年ゴールに最後の拍車
警戒陣更に緊張！

首都警察廳の年末特別警戒は全警察官不眠不休の涙ぐましき努力によつてナス景氣にいつもなら巷に氾濫するであらう大トラ、小トラの姿さへ今年は例年より少なく諸犯罪もめつきり減少眞に戰時下にふさわしい市民の緊張を反映して愈よ逝く年のゴールも殘されるところ後三日となり、新春への跫音は一日一日高く巷に響いてゐる、二十八日御用納めに一先づ一年の幕を降ろした首警では殘るこの三日の最終を飾るべくこれが警戒については一段と馬力を掛けいわゆる總動員徹宵勤務の鐵壁の布陣を以て完璧を圖るが、警民協力の建前から市民の自戒協力を切に要望されてゐる

危いガス漏洩
痛ましい溫突、ペーチカの犠牲
就寢時に御注意

零下三十度、酷寒の夜溫突、ペーチカはわれ〳〵の生命とも言ふべきものであるが、反面これが不完全による瓦斯の漏洩は延いて生命を奪ふ惡魔ともなり、既に來る春も迎へず一家敢えなく散つて行つた痛しい犠牲者さへも報ぜられてゐる折柄、一般家庭に於ては就寢時に當りこの方面について一段の注意を拂ひ慘禍を未然に防止するやうにと希望されてゐる

集金横領捕る

高知縣幡多郡平田村黒川生れ西尾勝（三二）は以前某官廳勤務時代に惡事を働き爲に職を退き、最近東三條通五四進物商大阪林信新京店へ勤務したが、又々惡心を起して二十三日賣掛代金約三百圓を集金横領して逃走した、その後中央通署で捜査中の所二十八日午前一時半頃日本橋通二十四おでんみやこを出てカフェー全勝前を醉歩慢々通行中を特別警戒中の同署杉野刑事に逮捕された、横領金はネオン街料理屋等でほとんど使ひはたし殘金は僅少であつた

これは逃走

東二條通六日鮮精米所店員全羅南道生れ趙鐘環（二二）は二十六日集金に行つたまゝ歸宅せず、取調べに依り賣掛金約百四十圓を集金横領の上逃走したものらしくこの旨中央通署へ屆出あつたが、本人は二十七日午前八時十分新京驛發ひかりで既に朝鮮へ逃走した形跡がある

全滿戰蹟を彩管行脚
武藤夜舟少佐が

昨年八月畫筆を投じて應召、北支戰線に〇〇部隊附として活躍した有名な軍人畫伯武藤夜舟少佐は今夏八月滿洲に轉じ北滿一面坡駐屯〇〇部隊附として引續き活躍中であつたが、廿八日ひよつこり滿鐵本社弘報課を訪れた、武藤少佐は北滿駐屯後五ヶ月の間日清日露兩戰役ならびに滿洲事變と約四十年間、滿洲の曠野に幾多わが同胞が血を流した各地の戰蹟が漸く世人の記憶から薄れて行くのを憂慮し滿洲駐屯中にこれら戰蹟を畫筆に收め新たに世人の胸底に愬へ非常時認識の一助にもしたいと發念し、關東軍報道班の絶大なる賛助を受けて近く着手することになり、滿鐵弘報課と種々打合せのため赴通したもので、實行プランは未だ確定してゐないが、滿鐵北鐵の沿線を殆んど剩す所なく巡歴して各戰蹟をスケッチに收めて滿洲事情案内所員の手で解説を入れ數冊に分けて刊行する筈で來年一杯には完成の豫定である、右に就き武藤少佐は語る

滿洲には忠靈塔が九つあるが、然しその忠靈塔所在地の人ですらその由來を知らぬ人の多いのは殘念だ、滿洲には幾百萬のわが同胞が血を流して今日まで來てゐるのだ、自分はこれをスケッチし解説を附して刊行し再び國民に愬へたいので今度の計畫を思ひついた、何しろ廣い滿洲の戰蹟を全部入れたいので相當時日はかゝることだが軍報道班、滿鐵の御好意で近く着手する心算である

來てみれば胡魔化しと判り

大連甘井子生れ王瑛珊（二十八）山東省生れ王祖發（二十六）の二名の苦力頭は黒河省孫呉で錢高組の仕事をしてゐたが、苦力賃銀七百圓を受取る爲に二十八日午後打連れて來京した、所が驛で祖發は便所へ行つたまゝ行方がわからなくなり、瑛珊のみ錢高組へ來たら、賃銀は既に孫呉で祖發に支拂つてあること判明、さてはごまかして逃走したかと瑛珊が西公園派出所へ屆出た

中央通署優秀警官表彰

中央通署では二十八日御用納めに當つて過去一年間犯人逮捕その他警務に功勞あつた左記六名を優秀警察官として表彰、小澤署長より金一封を贈つた

伴野警尉補（大和通）伊藤警尉補（八島通）坂東警尉補（富士町）芹川警長（前富士町、現直轄）丸井警長（前日本橋通、現保安）瀧澤警長（前日本橋通、現會計）

今度は四百圓
第二の大チップ事件

酒は涙か溜息か、ナス景氣からはた又自棄酒か歳末のネオン街は不景氣知らずの大賑はひ、ネオン消える頃ともなれば大トラ小トラが巷に横行して自肅自戒何れにかあるの情景を呈してゐるが、この街を賑はす近頃の話題である四百圓チップ事件、所は富士町カフェー大新京、廿七日午後十時頃ふらりと現はれた協和服の一青年が普通の遊客と一寸も變らず當り前に酒を飲み小一時間で歸つたが、當り前でないのがそのチップ、番に當つた飯塚ふみ子こと三輪初子さん（二十一）の行屆いたサービス振りが氣に入つたか十圓近い勘定であるのにさつと出したのは百圓札四枚、これには飯塚さんもあまり多過ぎる、何かの間違ひではないかと押返したがどうしても受取れと押出し押返し結局半金の二百圓をチップとして受取つたと言ふが、歳末の空景氣、來る人こそ多いがチップは割に少ないけふこの頃、あんまりうま過ぎる話だと噂は飛んで彩票に當つたにしては十四日から日が離れてゐるとこの所この話でネオン街は持切つてゐる

船越商會に店員獻金と寄附金
金六百圓を本社寄託

市内日本橋通五六金物店船越商會主船越喜代次氏は時局柄年末年始の贈答を廢し金百圓を關東軍へ恤兵金に、金百圓を國防獻金として陸軍省へ、金百圓を國防獻金として海軍省へ、金百圓を帝國在鄕軍人會聯合分會新京支部へ、金百圓を歳末同情週間基金として市公署へ、又同店々員中村氏外十九名から百圓を關東軍へ恤兵金として以上六口の獻金ならびに寄附金を二十八日本社へ寄託があり、直ちに所定の手續を了した

羅津港に滿伊航路新設

【清津國通】三菱船舶部がイタリーと滿洲國東の呑吐港羅津間に航路を新設するといふ耳寄りなニュースが當地船舶關係筋に入つた、それによると曩に提携された滿伊通商條約により滿洲國からの特産輸出に對しイタリーから機械製品を輸入することゝなり三菱がこの貨物を一手に引受けることゝなつたので開設は明春三月頃の模様で國際港としての羅津の將來を示唆するものとして注目される

速達郵便のスピード化

滿洲航空株式會社に於ては、新鋭機ユンカース十八人乘旅客機を就航せしめ、或は新線を開設し運航回數を増加せしめる等、全面的に國内航空路を擴充强化し、明春一月一日を期し大々的にダイヤを改正することになつたが、これに伴ひ航空路による速達郵便もスピード化され、從來普通郵便で三日乃至四日目に到達する大連—奉天—新京—哈爾濱—佳木斯線を即日連絡することになつた

森重干夫氏赴任

滿洲國拓政司長より拓務省總務課長に復歸榮轉の森重干夫氏は廿八日〃あじあ〃で驛頭呂產業部大臣、岸、西村各次長、坪上滿拓、二宮鮮拓、山崎電業、今吉司政部長、三品少佐ほか多數官民の見送りを受けて家族同伴赴任の途についた

滿映、同盟ニュース交流協定成立
明年一月から實施

日本及び全世界に滿洲國を、滿洲國に日本を、相互に認識させる目的をもつて滿映、同盟間のニュース映畫交流問題はこのほど兩社間に協定成立し、いよ〳〵來る一月より實施されることゝなつたが、滿映ではこの機會に國内外に送る同社のニュース映畫の内容を充實すべく滿洲國のナショナル・ニュース・エゼンシーたる「國通」滿洲國通信社の協力を求めることゝなり廿八日午前十一時から弘報會館で關東軍報道班中島大尉、弘報處上村事務官、根岸滿映理事森田國通社長その他編輯局關係者出席の下に打合せを遂げた結果

一、取材の迅速化を圖るため滿映は製作部員を國通編輯局に詰めさせる
一、兩社の連絡を圖るため國通社員の中から適任者を選び滿映囑託を兼務させる
一、兩社及び關係者より成る連絡委員會を組織し月一回ニュース映畫製作に關する連絡打合せを行ふ
一、製作責任を明らかにするため滿映ニュース映畫タイトルに滿洲國通信社の名も加へる

などを決定散會した、なほ滿映、同盟ニュース映畫交流制度實現の結果、從來同盟の名で滿洲國内に輸入されてゐた日本及び海外ニュース映畫は滿洲では滿映が同社の名において編輯、配給し、また日本及び海外では同じ方法で同盟がこれに當るもので、其成果は各方面より期待されてゐる

政府、會社幹部 軍司令官に年末の挨拶

在京滿洲國政府官吏薦任官以上及び同特殊會社課長以上は廿八日午後三時廿分軍司令部に赴き植田軍司令官に對し年末挨拶を述べ軍司令官より一場の訓示があつて同三十五分辭去した

滿洲モータース慰問袋寄託

市内八島通り三三番地株式會社滿洲モータース新京支店では年末年始の贈答を廢し第一線に活躍中の皇軍將兵に贈る慰問袋三十二個を調製、二十八日夜本社へ寄託して來たので直ちに所定の手續をとつた

阪東彦三郎丈

【東京國通】梨園の名優阪東彦三郎丈は腦溢血のため廿八日午前十一時廿分つひに永眠した享年五十三

歳末の慌しい新京驛案内所、市内からの問合せで三一三二七六の電話はひつきりなしに使はれ空間のあつたことがないあまり使はれるので腹を立てたのか先日一度故障を起した位である▼この電話は大體列車時間や運賃の問合せであるが、中には仲々面白い問合せもある、つい二、三日前こんなのがあつた▼「あじあを停車驛以外で頼んで一寸停めて貰ふ譯に行きませんか」この强心臓には係員もしば〳〵返答の言葉が出なかつた▼松岡總裁でも一寸出來難いことをサテサテ滿鐵の誇快速あじあが泣きますわい

慰問袋三萬九千
首都本部國婦會から獻納

協和會首都本部並に國防婦人會新京支部では年末年始に際し富家强國運動の一翼として宴會及び贈答品の廢止、年賀狀の節約等を圖ると共にこれによつて節約し得たる金を以て酷寒下國境警備と治安工作に奮闘する日滿軍警に慰問品を贈るべしとかねて一般より募集して國防婦人會で慰問袋を作成中のところ、この程首都本部の分二萬五千個、國防婦人會の分一萬四千七百十六個、合計三萬九千七百十六個が出來上つたので廿八日午後二時于首都本部長は星野國防婦人會新京副支部長と打揃つて關東軍を訪問、磯谷參謀長に面會、一萬九千八百六十三個を獻納、次で治安部を訪問し于治安部大臣に面會、一萬九千八百五十三個を獻納した

締切後にも殺到
一萬五千圓突破
歳末の同情總動員

既報、惠まれぬ人達へ贈る歳末同情週間に隣保相扶の溫い同情金は締切後尚ぞく〳〵寄贈申出あり結果一萬五千圓に及ぶ成果を收め市社會事業聯合會係員を感激せしめてゐるが、新春を迎へる内地人及び露人窮民百數家族に對してはそれ〳〵隣保委員の手を經て分配廿九日中に終ることゝなつてゐる、尚これが取扱に萬全を期し亦寄贈申出の同情金を受付けるため係員は年末のぎり〳〵卅一日まで勤務活動する筈である

各機關年末始行事

△關東軍司令部は廿九日及び三十一日を休み、一日は午前九時より拜賀式、三日、五日が休日で本年は特に三十日、二、四日は勤務することになつてゐる
△滿洲國政府は廿八日に御用納めをなし各部局毎にそれ〴〵年度末の簡單なる式を行ひ所屬長官より訓示があつたが、廿九日より一月三日まで休み、四日御用始めとなる
△新京總領事館では元旦午前十時半から同十一時半までの間同館構内參事官々邸で拜賀式を擧行す
△滿洲中央銀行は三十一日まで平常通り執務し一日行内互禮會を開催、二日、三日が休日で四日より平常通り執務する
△滿洲電業は廿九日正午まで執務、三十、卅一日を休み一日は午前十一時三十分より遙拜式を行ひ二日、三日を休み、四日御用始めの式のみ、五日休日で六日より平常通りである
△電々會社では廿八日午後二時から廣瀬總裁より御用納めの訓示があつたが三日まで全休、四日より普通通り執務する
△興銀では三十一日は土曜日だが特に平常通り午後四時まで執務し一日より三日間休業し、四日から平常通り執務する
△滿洲重工業は廿九日より一月四日まで全休、五日御用始めの出勤、六日以降平常通り
△滿炭では三十日より休日、一日は午前十時より遙拜式があつて二、三日を休み四日より平常通り出勤する
△ヤマトホテルグリルは年末年始を休まず平常通り
△新京市立醫院は廿九日全休、三十日平常通り、三十一日一日休診、二日は平常通り診察、三日は休診、四日以降は平常通り受診
△滿鐵新京醫院は廿九日平常通り、三十日午前十時まで受付、三十一日、一日休診二日は午前十時まで診察受付、三日は休診、四日受付時間午前十時まで、五日は休診で六日から平常通り

新京神社諸祭儀
武運長久祈願祭は中繼放送

戰捷第二年を迎へて新年は皇軍の武運長久を祈る人々で新京神社々頭は一段と賑はひを増すことであらうが、神社では年末年始の諸祭儀を左の如く執行することに決定したが戰勝武運長久祈願祭は新京放送局に依り放送されることになつてゐる

・十二月三十一日午後三時大祓式、同日午後六時除夜祭
元旦午前一時年首平安祈願祭並に皇軍戰勝武運長久祈願祭、同日午前七時歳旦祭
三日午前十時元始祭

各省型破り
例年の休日全廢

【東京國通】廿八日は各省恒例の御用納めで、例年ならば各省のお役人もほつと一息つくのだが、事變下第二春を迎へる本年は例年並の休みどころではなく、陸軍省では長期建設興亞百年の大計にいよいよ第一歩を踏込んで例年にない忙しさで、恤兵部では年末年始の休みは全廢して銃後國民の赤誠を受付け、情報部でも將校の半數は毎日平常通り登廳、更に作戰の心臓部大本營陸軍部では戰爭に正月も何もあるものかと凄い張切り方だ、板垣陸相も年末年始は議會も休みに入つてゆつくりするところだが官邸に頑張つて年賀を受けるといふ、新春四日の御用始には省員一同初登廳、新年の挨拶をして極く質素にお祝をする筈である

けふの天氣　西の風晴
きのふの氣溫　最高零下一七度　最低零下三一度

若殿膝栗毛

(二百十八)

(上演上映) 中川雨之助
竹むら一郎畫

「叱ッ」

足を顫はせながら、襖子殿を下りるのも夢心地。漸く土藏の外まで、市松の手を力に出て來ると、物凄じい風が、闇の中で吹き狂つて居る。

その闇を縫つて市松、左りの手に香島の手を曳き、右手には、さつき單平から渡された小刀の鞘を掴つて、拔き身が爛々光つて居る。

サツト一陣の狂風、足もとから捲き起つた。砂埃が、市松の眼瞼を容赦なく叩きつける。

「あッ、ぷッ！」

むせる鼻口を、はツと聲で〓して咳を喚び止める。

「何處へ行くの、市松さん……？」

恐ろしくもあり、不安でもあり香島は、小聲で後ろから、袂を引くと、

「叱ッ」

なにを言つても、市松「叱ッ〳〵」の一點張り。

建物の裾、土塀の根を、鼬の形で、のそり〳〵と探つて行く。

目指すは、例の穗積門だ。其處には、老人の門番が、たつた一人詰めてゐる。

「門番を殺せ。外は一騒ぎ、小松殿の中を濱邊へ出ろ」と、單平から敎はつてゐる。

一方單平は、何處をどうして潜り込んだのか奥の十左衛門老人の部屋の床下で、土龍のやうに動いてゐた。

その床下には、夥しい黄金が甕に詰めて藏してある。

[illegible]を隠れ蓑にして、暴民を惑はし、搾つた金は、みんなこの床下へ運ばれ、近々に長崎の本部へ送られ、やがては幕府顛覆の軍用金にならうとする金である。

單平は、逸早くその金に眼をつけた。

「まゝよ、行きがけの駄賃だ。攫めるだけ攫んで行かう。先立つ物は金だからな」

惚れた香島を女房に、知られぬ他國で、市松を下男にでも使つて、のん氣に暮さうなぞと、虫の好いのん氣な夢を見てゐるのだ。

勝手知つた唐櫃の所在、足さぐりでも見當はつく。用意の刄物でコヂ開けて、突込んだ手先に、黄金入の袋の手觸りは惡くない。

慾張つて、その二ツ袋を兩脇に抱へ込み、のそ〳〵と這ひ出した縁の下。

その間に、市松が、香島を連れて穗積門へ行つてゐる。二人に、一と先へ逃げられては何んにもならぬから、自分も早く、其處へ廻らなければならない。

その途中で、手當り次第に火を放けたのだ。

奇妙院にあがつた火の手が、三文字屋の人々を驚かしたのは、それから後のことだつた。

◇

夜半の寂寞を破つて、廊下に慌しい足音。

奇妙院奥殿の一室に、末次十左衛門、まだ寝も遣らず、今か〳〵と單平が、香島の首打つて來るのを待つて居た。

「今夜、人目を避つて、斬つてしまへ」

「心得ました。必ず討つてお目にかける」

兩人の密へた約束を、果すは今夜である。

そこへ突然廊下の足音。單平ならば靜かに忍んで來る筈だのに、慌ただしい亂れ足に若しやと胸を打たれた十左衛門、刀引寄せ、スハと云はば、拔き打にせんと、膝立てに身構へた。

襖子がサツと開いて、

「末次さま大變……」と、聲を喘ませたのを、誰かと見れば品乃であつた。彼女は、よほど狼狽へてゐる。